

# 倉敷市立自然史博物館報

26

(平成28年度)

G7倉敷教育大臣会合応援事業

美術館  
ルネサンス  
事業

「発掘された  
過去・現在・未来」展

2016  
4/29(金) → 6/19(日)

◆会場：倉敷市立美術館 1階エントランスホール、2階第2展示室  
◆観覧時間：9時～17時15分（入館は16時45分まで）◆休館日：月曜日  
◆観覧料：一般210円、高大生100円、小中生50円（65歳以上、いびきやバネシート・高畳川道場バネシート（土豆腐）除き、心身障がい者とその介護者1名 無料）◆関連イベントあり（お申し込み要）  
◆主催：倉敷市教育委員会（倉敷市立美術館・倉敷市立自然史博物館・倉敷市立図書館・倉敷科学センター・倉敷歴史文化センター）

倉敷市立自然史博物館

平成29年7月1日発行

# 目 次

## I. 展示事業

1. 常設展	1
2. 特別展	1
3. 特別陳列	1
4. 特別展示	2
5. 巡回展	2
6. ミニ水族館の展示	2
7. 生きた動植物の展示	2
8. 新着・収蔵資料の紹介	2
9. 第4展示室「植物の世界」自由展示の展示	2
10. 常設展示の展示点数	2
11. 常設展示の改更	3
12. 自然情報掲示板の設置	3
13. 倉敷まちかど博物館	3
14. ボランティアガイドの活動	3
15. 他館への展示協力	3

## II. 調査研究事業

1. 機関研究	3
2. 分野別研究テーマ	3
3. 依頼調査・研究	3
4. 研究業績などの公表	3
5. 査読	6

## III. 資料収集保管事業

1. 寄贈標本	7
2. 館員による採集	9
3. 受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳	9
4. 二次資料	10
5. 登録済み資料点数	11
6. 標本整理ボランティアの活動	11
7. 博物館のお宝探検ツアー	11
8. 館外者による収蔵資料の利用	11
9. 収蔵資料を活用した業績	11
10. 収蔵庫の充実	12
11. 収蔵庫の燻蒸	12

## IV. 教育普及事業

1. 自然観察会	12
2. 博物館講座	13
3. 標本の名前を調べる会	13
4. 植物教室	13
5. 動物研究会	13
6. むしむし探検隊	13
7. 手作り教室	13
8. パオちゃんとクイズであそぼう！	13
9. 折り紙教室	13
10. スライド映写会	13
11. 昆虫標本作り体験教室	13
12. 11月3日は自然史博物館まつり	13
13. 出版物	14
14. レファレンス	14
15. 学校園等見学ガイダンス	14
16. 博物館実習生等の受け入れ	14
17. 講師派遣	14
18. マスコミ報道	15
19. 学校用標本の貸出	16
20. 倉敷市立自然史博物館友の会の活動	17

## V. 庶 務

1. 沿革	18
2. 各室現有面積	18
3. 組織	19
4. 委員・役員委嘱	19
5. 会議等派遣	20
6. 学習支援	21
7. 広報活動	21
8. 職員の研修参加	21
9. 無料開放	21
10. 予算・決算	21
11. 年間利用者数	22

倉敷市立自然史博物館条例

倉敷市立自然史博物館条例施行規則

利用案内

# I. 展示事業

## 1. 常設展

〔エントランスホール〕 動くナウマンゾウの母子，倉敷の化石動物。

〔第1展示室：岡山県のなりたち〕 地球と生物の歴史，岡山県の地史，岡山県の地形，ナウマンゾウ骨格模型，倉敷市の地質と岩石，岡山県のスカルン，岡山県の岩石と鉱物，倉敷周辺の平野のなりたち。

〔第2展示室：岡山県のいきもの〕 岡山県の地形・地質と気候，岡山県の自然といきもの，阿哲の石灰岩台地，自然は変わる，ビデオコーナー。

〔第3展示室：昆虫の世界〕 体のしくみ，昆虫の歴史と分類，色と形のふしぎ，世界の昆虫，昆虫の生活，当館の昆虫コレクション，話題の虫。

〔第4展示室：植物の世界〕 生物の五界説，植物のかたち，植物のなかま，植物の分布，岡山県の植物，倉敷市の植物，くらしの中の植物，自由展示。

## 2. 特別展

第25回特別展「金銀銅の自然史」：金・銀・銅の自然界における産出状態を世界の各地域ごとに展示紹介し，金・銀・銅が人類史に与えた影響について，貨幣や通貨単位「円」・「ドル」の起源などを通して紹介した。また，世界遺産に登録されているイギリス・スペイン・ボリビア・メキシコなどの各国の鉱山や石見銀山から産出した鉱石を展示するとともに，江戸時代から近代までの岡山県における金・銀・銅の産出について紹介した。

会期：2016年7月16日（土）～11月3日（祝・木）

会場：特別展示室

主催：倉敷市立自然史博物館

共催：倉敷市立自然史博物館友の会

展示内容：

元素としての金銀銅について

地球の誕生と金

金鉱石とは

金鉱床とは

金鉱山での採掘

金を含む主な鉱物

金鉱石の製錬方法

地球における金鉱床の形成時期

約30億年前の大陸内部における金鉱床の形成

約2億年前以降，大陸縁辺部の造山帯で形成された金鉱床

日本列島の主な金鉱床

岡山県での金の産出

銀鉱石・銀鉱床とは

銀を含む主な鉱物

近代より前の金銀の製錬法

世界の銀鉱床

日本列島の主な銀の産出

岡山県からの銀の産出

銅鉱石とは

世界の銅鉱床

銅を含む主な鉱物

日本の主な銅鉱床

銅と合金で使われる主な元素

岡山県の銅の産出

日本の貨幣の変遷

日本の7～10世紀の貨幣

日本の11～15世紀の貨幣

日本の16世紀の貨幣

江戸時代の貨幣（金貨幣）

江戸時代の貨幣（銀貨幣）

江戸時代の貨幣（銅貨幣：寛永通宝）

江戸時代の貨幣（銅貨幣：宝永通宝・天保通宝・文久永宝）

江戸時代の貨幣制度

江戸時代の金銀銅の鉱山

明治時代の貨幣

管理通貨制度下の貨幣

## (2) 関連イベント

7月16日（土）展示解説①

7月17日（日）展示解説②

8月7日（日）黒鉱の話と顕微鏡観察

8月14日（日）別子銅山の話と銅鉱石の顕微鏡観察

8月28日（日）菱刈鉱山の話と金鉱石の顕微鏡観察

10月2日（日）縄地鉱山の話と金鉱石の顕微鏡観察

## (3) 会期中の観覧者数 30,325名.

## (4) 協力者（五十音順，敬称略）

団体：岡山大学理学部，東京大学総合研究博物館，山口大学工学部学術資料展示館

個人：入江和喜，木下延子，草地功，島崎英彦，清水千恵子，八島公雄，山中寿朗

## 3. 特別陳列

1月17日～4月3日 「第23回しぜんしくらしき賞作品展」特別展示室 共催：倉敷市立自然史博物館友の会。

9月3日～9月19日 「秋の鳴く虫展」学習コーナー。17種を生体展示。協力：難波稔明氏・清水泉太氏。

11月19日～1月9日 「新着資料展2016」特別展示室。松本幸男貝類コレクション（一部），頃末敏秀哺乳類コレクション（一部），各種の鉱物・化石，岡山県新産植物標本など。

1月15日～4月2日 「第24回しぜんしくらしき賞作品展」特別展示室 共催：倉敷市立自然史博物館友の会。

4月16日～6月19日 「新着資料 近藤光宏昆虫コレクション展」特別展示室。

4月16日～6月19日 「おりがみ昆虫展」(提供:江頭聖大氏)  
 関連イベント:6月11日 昆虫おりがみ教室. 共催:倉敷市立自然史博物館友の会.

#### 4. 特別展示

「発掘された過去・現在・未来」ーG7倉敷教育大臣会合応援事業・美術館ルネサンス事業ー

自然史博物館・市立美術館・科学センター・埋蔵文化財センター・市立図書館がそれぞれの視点でとらえた「過去」「現在」「未来」を一堂に展示した. 当館からは, 林原コレクションの中からティラノサウルス・恐竜の大きい骨・大型アンモナイト・プレラノドン・トリケラトプス頭骨など多数の化石を展示した.

主催:倉敷市教育委員会(倉敷市立美術館・倉敷市立自然史博物館・倉敷市立図書館・倉敷科学センター・倉敷埋蔵文化財センター)

会期:2016年4月29日(金・祝)～6月19日(日)

開館時間:9時～17時15分(入館は16時45分まで)

会場:倉敷市立美術館1階エントランスホール・2階第2展示室  
 観覧料:一般:210円(150円), 高大生:100円(70円), 小中学生:50円(30円). ( )内は20名様以上の団体料金. いきいきパスポートまたは生徒手帳を提示した倉敷市内の小中学生, 高梁川流域パスポートを提示した小学生(土日祝のみ), 65歳以上の方, 心身障がい者とその介護者1名は無料.

##### (1) 関連イベント(当館分)

恐竜のアクセサリ作り:4月29日(金・祝)10時30分～16時30分, 6月12日(日)10時30分～16時30分, 定員各30名.

ティラノサウルスを描こう!:5月5日(木・祝)10時～16時, 定員20名.

自然素材で恐竜作り:6月5日(日)13時～16時, 定員40名.

##### (2) 会期中の観覧者数:10,774名.

#### 5. 巡回展

「イチ押し! 瀬戸内海の自然トピックス」

大阪市立自然史博物館の呼びかけに応じて自然観察会や調査研究, 資料収集などをともに実施した施設等が連携して順次展示会を開催した. 倉敷での開催はその初回.

会期:8月9日(火)～8月16日(火)9時～22時(最終日の16日は17時閉場)

会場:倉敷市玉島市民交流センター第2美術展示室(倉敷市玉島阿賀崎1-10-1)

主催:大阪市立自然史博物館

共催:倉敷市立自然史博物館・倉敷市立自然史博物館友の会

概要:連携活動を通じて得られた情報や標本資料を基に, 瀬戸内海の特徴的な自然を標本, レプリカ, 模型, 写真, 解説パネルなどを使ってトピック形式で紹介

主な展示物:瀬戸内海の地形の模型, カブトガニ実物標本・瀬戸内海を代表する鳥類の剥製, 浜辺で見られるウスバカゲロウ(アリジゴク)の拡大模型やハマボウの模型, サワラ・タケノコメバ

ルなどの実物模型, マガキ養殖で吊り下げられたマガキ実物標本, マテ突き(香川県のマテ貝漁)などの漁具

#### 6. ミニ水族館の展示(敬称略)

##### (1) 昆虫の水槽(追加分)

4月2日 タガメ 安田剛長.

4月6日 オオヤマトンボ幼虫 江口祥子.

4月12日 オニヤンマ幼虫・サナエトンボ科幼虫 奥島雄一.

4月19日 ミナミヌマエビ・小魚 奥島雄一.

5月17日 クロゲンゴロウ・ガムシ・ミズカマキリ・ヤンマ科幼虫 奥島雄一.

6月15日 コガムシ・コオイムシ 奥島雄一.

6月25日 コガムシ・コオイムシ・ヒメアメンボ 奥島雄一.

7月13日 コオイムシ・ハイイログゲンゴロウ・コガムシ 脇本浩.

9月4日 メダカ類・タニシ類 元岡ひろみ.

11月14日 マツモムシ・シマアメンボ・ヤンマ科幼虫・サナエトンボ科幼虫・オオミズスマシ 奥島雄一.

11月30日 サナエトンボ科幼虫・エビ類・カワニナ類 奥島雄一

12月4日 トビケラ類幼虫・サナエトンボ科幼虫・カワゲラ類幼虫・カゲロウ類幼虫・小魚・エビ類・カワニナ類 奥島雄一

3月26日 コオイムシ 安達由莉

##### (2) 植物(追加分)

10月26日 セキショウモ, クロモ, センニンモ 館員.

#### 7. 生きた動植物の展示(敬称略)

1月5日～12日 春の七草の鉢植え 貝原千恵子氏.

#### 8. 新着・収蔵資料の紹介

##### (1) 地学

4月1日～3月31日 古生代の植物化石 館員.

##### (2) 昆虫

継続(随時更新) 新着資料:館員ほか.

#### 9. 第4展示室「植物の世界」自由展示の展示

3月1日～6月8日 「岡山県のタンポポ『タンポポ調査・西日本2015』の結果報告」 館員.

6月8日～7月16日 「岡山県のグミ科」 館員.

7月16日～11月19日 「金銀銅にちなんだ植物」 館員.

11月19日～3月14日 「干支(トリ)にちなんだ植物」 館員.

3月14日～6月23日 「岡山県のフウロソウ科」 館員.

#### 10. 常設展示の展示点数

第1展示室「岡山県のなりたち」 約270点

第2展示室「岡山県のいきもの」 約1,000点

第3展示室「昆虫の世界」 約9,200点

第4展示室「植物の世界」 約1,000点

## 11. 常設展示の改更

### 第3展示室「昆虫の世界」

「当館の昆虫コレクション」 随時更新.

「話題の虫」 ゴホンダイコクコガネ、アゲハ、スズキベッコウハナアブ、50年前の標本、マイマイカブリ、マツムシ、アオゴミムシ、日本最大のシロアリ化石を紹介.

「昆虫化石」 林原コレクションの昆虫化石を追加.

## 12. 自然情報掲示板の設置

1階「学習コーナー」に設置し、最新の自然の話題などを紹介している。随時更新.

## 13. 倉敷まちかど博物館

財団法人自治総合センターの「平成25年度コミュニティー助成事業」の助成を受けて、当館が所蔵する岩石・鉱物・化石・植物・昆虫・動物などの本物の標本を、移動可能な展示ユニット計60

台に仕立てて、公共性の高い施設、または市民や観光客らが集う施設を対象として貸し出ししている.

平成28年度新規貸出実績（継続含まず、更新含む）：述べ12施設、41台.

設置先：倉敷市立万寿小学校、倉敷市立美術館、倉敷市立中央図書館、倉敷市立水島図書館、倉敷市立児島図書館、倉敷市立船穂図書館、倉敷市琴浦公民館、倉敷市少年自然の家、倉敷市教育長室、プロジェクト・ワイルド・プラス岡山、倉敷市観光休憩所、環境学習センター「アスエコ」.

## 14. ボランティアガイドの活動

昆虫分野（敬称略）：藤沢悦治 延べ34回.

## 15. 他館への展示協力

7月21日～9月4日 面河山岳博物館第50回特別展「危険生物」にチョウ目幼虫標本を提供

# II. 調査研究事業

## 1. 機関研究

### (1) 岡山県下の自然に関する総合調査研究（調査日）

〔地学分野：武智泰史〕 5月22日、6月26日、10月23日、10月30日、12月4日.

〔植物分野：狩山俊悟〕 4月12日、5月17日、22日、29日、6月16日、26日、9月16日、10月2日、7日、13日、23日、11月30日、12月4日、3月29日.

〔昆虫分野：奥島雄一〕 4月12日、5月17日、22日、6月12日、16日、26日、7月18日、10月13日、23日、11月30日、12月4日、3月29日.

〔動物分野：江田伸司〕 4月10日、12日、24日、5月17日、22日、29日、6月16日、26日、7月16日、9月14日、10月13日、16日、23日、11月30日、12月4日、2月4日、25日、3月5日、29日.

### (2) 倉敷市内の自然に関する総合調査研究（調査日）

〔植物分野：狩山俊悟〕 5月20日、28日、6月15日、25日、7月26日、9月15日、18日、10月30日、11月12日、13日、22日、3月26日.

〔昆虫分野：奥島雄一〕 5月26日、6月15日、23日、24日、25日、7月1日、8日、21日、22日、24日、27日、28日、8月4日、5日、12日、10月7日.

〔動物分野：江田伸司〕 11月27日、29日.

## 2. 分野別研究テーマ

### (1) 地学：武智泰史

・地質鉱物の研究.

### (2) 植物：狩山俊悟

・岡山県産植物の分類、地理学的研究.

・宇野確雄植物コレクションの分類学的研究.

・「岡山県植物誌研究会」に対する研究支援.

・岡山県赤磐市の植物相調査.

### (3) 昆虫：奥島雄一

・岡山県の昆虫調査.

・ジョウカイボン科（コウチュウ目）の分類学的研究.

・自然史資料の収集と活用について.

### (4) 動物：江田伸司

・岡山県の動物調査研究.

## 3. 依頼調査・研究

植物：狩山俊悟

・吉野善介氏採集植物標本調査（依頼先：高梁市教育委員会） 2月28日.

## 4. 研究業績などの公表

### (1) 博物館講座「学芸員研究紹介」

「金銀銅の自然界からの産出と人とのかかわりについて」 演者：武智泰史 1月15日 17名.

「岡山県に産するフクロソウ科の植物」 演者：狩山俊悟 2月26日 34名.

「岡山県のブッポウソウについて」 演者：江田伸司 3月11日 45名.

「日本最大のシロアリ化石の発見—辰巳峠の昆虫化石から—」 演者：奥島雄一 3月20日 62名.

### (2) 当館より発行された刊行物

倉敷市立自然史博物館研究報告第32号, 3月25日, 550部発行, A4判, 77ページ, 本文一部カラー, 寄贈交換先へ配布するほか, 1部1,296円(税込み)で, 有料頒布.

収録報文 (\*は館外研究者)

[論文]

田中敏明\*・奥島雄一, 鳥取県辰巳峠の上部中新統から産出した *Gyatermes* 属のシロアリ前翅化石 (ゴキブリ目, シロアリ下目, Archotermopsidae 科), 1-6.

三宅誠治\*, 岡山県に於けるフジミドリシジミの生息状況, 7-40.

小林秀司\*・太田日出明\*・奥島雄一, 岡山県内で初めて得られたハクビシン (ネコ目, ジャコウネコ科) とその胃内容, ならびに外部寄生虫, 41-48.

岡本泰典\*・狩山俊悟, 倉敷市立自然史博物館が所蔵する牧野富太郎博士の吉野善介あて貴重書簡, 49-61.

[ノート]

狩山俊悟, 岡山県植物誌資料(16) 岡山県のプロソソ科, 63-77.

### (3) 当館以外の刊行物への寄稿

武智泰史: 地学担当 (13件)

古代の陸上植物, 自然のおはなし. 山陽新聞. (4月17日)

武智泰史・浜根大輔, 香川県丸亀市広島町の高縄石-(Y)とY・Pに富むジルコン, 資源地質学会第66回年会講演会講演要旨集. 62. (6月22日)

武智泰史・Adomako-Ansah Kofi・石山大三, 岡山県吉備中央町の含金石英脈について, 資源地質学会第66回年会講演会. 86. (6月22日)

床板サンゴ類, 自然のおはなし. 山陽新聞. (7月24日)

第25回特別展「金銀銅の自然史」の展示解説の報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (296): 13. (8月13日)

第25回特別展「金銀銅の自然史」関連イベント報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (298): 9. (10月8日)

第25回特別展「金銀銅の自然史」関連イベント報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (299): 7. (11月12日)

岡山県内の銅と銀の産出, 自然のおはなし. 山陽新聞. (11月27日)

自然観察会 (2016年10月30日) 「鶴形山の岩石とそこの石材の岩石」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (300): 4-5. (12月10日)

自然観察会 (2016年12月4日) 「おかやま自然探訪52」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (301): 3. (1月14日)

博物館講座「金銀銅の自然界からの産出と人とのかかわりについて」が行われました. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (302): 7. (2月11日)

鶴形山の岩石とそこの石材としての岩石, 自然観察会の記録. しぜんしくらしき, (100): 18-19. (3月1日)

地球の金について, 自然のおはなし. 山陽新聞. (3月26日)

狩山俊悟: 植物担当 (54件)

第253回シダ観察会—岡山市東区 (2016年2月14日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (292): 2. (4月9日)

「タンポポ調査・西日本2015」情報 (2015年4月). 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (292): 6-7. (4月9日)

「しぜんしくらしき」原稿募集. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (293): 13. (5月14日)

第254回シダ観察会—瀬戸内市 (旧長船町) — (2016年3月22日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (293): 8. (5月14日)

岡山県内のキイチゴ, 17種3雑種が生自, 自然のおはなし(96). 山陽新聞 (さん太タイムズ). (5月22日)

滝山自然公園の岩崖性植物. しぜんしくらしき, (97): 17. (6月1日)

高梁市川上町大竹でモウコタンポポを確認. しぜんしくらしき, (97): 20. (6月1日)

共著 (狩山俊悟・小島裕子). 岡山市東区犬島の植物. しぜんしくらしき, (97): 6-9. (6月1日)

第255シダ観察会—備前市 (旧吉永町) — (2016年4月23日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (294): 2. (6月11日)

職場体験学習を終えて. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (294): 5. (6月11日)

「しぜんしくらしき97号」を発行. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (294): 7. (6月11日)

今年の夏山合宿は, 「南アルプス最南の3000m峰, 聖岳」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (294): 7. (6月11日)

第256シダ観察会—美咲市 (旧旭町) — (2016年5月21日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (295): 4. (7月9日)

探検コースの樹木をホームページで紹介. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (295): 8. (7月9日)

ミニ展示「岡山県のグミ科」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (295): 8. (7月9日)

ミニ展示「金銀銅にちなむ植物」開催中. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (296): 11. (8月13日)

博物館講座「植物の採集方法と標本作り」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (296): 11. (8月13日)

巡回展「イチ押し! 瀬戸内海の自然トピックス」のお知らせ. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (296): 13. (8月13日)

職場体験学習を終えて. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (296): 6. (8月13日)

第257シダ観察会—新見市 (旧新見市) — (2016年6月13日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (296): 7. (8月13日)

金・銀・銅にちなむ植物, 「金」の多くは花が黄色, 自然のおはなし(99). 山陽新聞 (さん太タイムズ). (8月28日)

定山溪天狗岳のお花畑とハイアロクラスタイト. しぜんしくらしき, (98): 1. (9月1日)

共著 (狩山俊悟・岡本泰典). 子殿洲 (笠岡市神島) の植物. しぜんしくらしき, (98): 11-13. (9月1日)

岡山県産フサタヌキモの標本が見つかる。しぜんしくらしき、(98) : 16. (9月1日)

共著(岡本泰典・狩山俊悟)。笠岡市の海岸でハマヒサカキを発見。しぜんしくらしき、(98) : 4-5. (9月1日)

犬ノ島(岡山市東区犬島) 渡島記。しぜんしくらしき、(98) : 9-10. (9月1日)

「しぜんしくらしき98号」を発行。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(297) : 8. (9月10日)

第259回シダ観察会—美作市(旧大原町)—(2016年8月22日) 報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(298) : 5. (10月8日)

第260回シダ観察会—新庄村—(2016年9月12日) 報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(299) : 4. (11月12日)

職場体験学習を終えて。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(299) : 9. (11月12日)

アベマキ。倉敷の自然、(101) : 1-2. (11月30日)

身近な植物たち(4) カンサイタンポポ。倉敷の自然、(101) : 32. (11月30日)

第16回「11月3日は自然史博物館まつり」(2016年11月3日) 報告「楽しみ満載だったおまつり」。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(300) : 5. (12月10日)

職場体験学習を終えて。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(300) : 6. (12月10日)

第261回シダ観察会—美作市(旧勝田町)—(2016年10月11日) 報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(300) : 8. (12月10日)

高梁市で採集された植物標本を集めています。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(300) : 9. (12月10日)

「しぜんしくらしき99号」を発行。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(300) : 11. (12月10日)

新刊「琉球の樹木」のご案内。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(300) : 11. (12月10日)

ミニ展示「干支(トリ)にちなんだ植物」開催中。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(300) : 11. (12月10日)

岡山県内 酉年にちなむ植物、3大河川にノゲイトウ、自然のおはなし(103)。山陽新聞(さん太タイムズ)。 (12月25日)

干支(酉)の名前をもつ植物。きび野、(144) : 5. (1月1日)

第262回シダ観察会—新見市(旧哲西町)—(2016年11月19日) 報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(301) : 5. (1月14日)

スライド映写会「花の百名山を訪ねて3〜鳥海山・月山・浅草岳〜」の報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(301) : 8. (1月14日)

職場体験学習を終えて。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(302) : 3. (2月11日)

第263回シダ観察会—美作町(旧柵原町)—(2016年12月3日) 報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(302) : 4. (2月11日)

京都府北部の蛇紋岩地に生える温帯性植物。しぜんしくらしき、(100) : 9. (3月1日)

笠岡市北木島でイシカグマを再確認。しぜんしくらしき、(100) : 13. (3月1日)

管理された雑木林の林床植物。しぜんしくらしき、(100) : 18. (3月1日)

(共著: 裾分由美子・溝手啓子・木下延子・狩山俊悟・片山 久)。第264回シダ観察会—北木島北部(笠岡市北木島町)—(2017年1月16日) 報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(303) : 4-5. (3月11日)

新刊紹介「タンポポハンドブック」。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(303) : 8. (3月11日)

職場体験学習を終えて。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(303) : 10. (3月11日)

コバノミツバツツジ。倉敷の自然、(102) : 1-2. (3月31日)

身近な植物たち(5) セイヨウタンポポ。倉敷の自然、(102) : 26. (3月31日)

奥島雄一: 昆虫担当(50件)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループのお誘いと活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(292) : 4. (4月9日)

昆虫グループ活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(292) : 4. (4月9日)

共著: 奥島雄一・加藤学、オオスズメバチの巣とその居候者の採集。スライド映写発表要旨、KURAKON、(82) : 446. (4月30日)

倉敷市立自然史博物館の催し物案内。KURAKON、(82) : 449-451. (4月30日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループのお誘いと活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(293) : 10. (5月14日)

昆虫グループ活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(293) : 10. (5月14日)

ミニ水族館の新顔。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(293) : 13. (5月14日)

共著: Hsiao, Y., Y. Okushima & P-S. Yang, Review of the genus *Stenothemus* Bourgeois from Taiwan, with description of three new species (Coleoptera: Cantharidae) and additional distributional records of previously known species. Zootaxa, 4117(1) : 101-114. (5月31日)

ヤブキリの一種がセイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシを捕食。しぜんしくらしき、(97) : 10. (6月1日)

秋に常緑樹の樹液に集まるオオスズメバチ。しぜんしくらしき、(97) : 14. (6月1日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループのお誘いと活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(294) : 4. (6月11日)

昆虫グループ活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(294) : 4. (6月11日)

ミニ水族館の新顔。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(294) : 7. (6月11日)

共著：原田愛・奥島雄一，脊椎動物グループのお誘いと活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(295)：6。(7月9日)

昆虫グループ活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(295)：6。(7月9日)

ミニ水族館の新顔。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(295)：8。(7月9日)

共著：Hsiao, Y. & Y. Okushima, A new species of the genus *Lycocerus* from Taiwan (Coleoptera, Cantharidae). Acta Entomologica Musei Nationalis Pragae, 56(1)：255-264。(7月15日)

共著：原田愛・奥島雄一，脊椎動物グループのお誘いと活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(296)：9。(8月13日)

昆虫グループ活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(296)：9。(8月13日)

博物館講座「昆虫の採集方法と標本作り」の報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(296)：12。(8月13日)

ミニ水族館の新顔。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(296)：12。(8月13日)

共著：原田愛・奥島雄一，脊椎動物グループのお誘いと活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(297)：6。(9月10日)

昆虫グループ活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(297)：6。(9月10日)

「自然の標本なんでも相談会」報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(297)：6。(9月10日)

緊急：鳴く虫の里親募集！！。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(297)：9。(9月10日)

マツムシ。自然のおはなし，100，山陽新聞(さん太タイムズ)，(47912)：12。(9月25日)

昆虫グループ活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(298)：6。(10月8日)

共著：原田愛・奥島雄一，脊椎動物グループの活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(298)：6。(10月8日)

ミニ水族館の新顔。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(298)：8。(10月8日)

共著：原田愛・奥島雄一，脊椎動物グループの活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(299)：5。(11月12日)

昆虫グループ活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(299)：5。(11月12日)

倉敷市立自然史博物館のおしらせ。KURAKON，(83)：454。(11月12日)

共著：Li, L., L. Zhang, Y. Yang & Y. Okushima, A contribution to the knowledge of the genera *Fissocantharis* Pic, 1921 and *Micropodabrus* Pic, 1920 from Taiwan (Coleoptera, Cantharidae). European Journal of Taxonomy, 243: 1-37。(11月14日)

我が家の庭から消えたカエル。倉敷の自然，(101)：3-4。(11月30日)

共著：奥島雄一・藤本緑，スズムシ雌雄型の追加記録。月刊むし，東京，(550)：16。(12月1日)

共著：奥島雄一・植松蒼，ネグロクサアブの記録。しぜんしくらしき，(99)：9-10。(12月1日)

美作市作東地域の昆虫。しぜんしくらしき，(99)：18-19。(12月1日)

サトクダマキモドキの黄色型。しぜんしくらしき，(99)：20。(12月1日)

昆虫グループ活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(300)：9。(12月10日)

共著：原田愛・奥島雄一，脊椎動物グループの活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(300)：9。(12月10日)

ミニ水族館の新顔。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(300)：11。(12月10日)

共著：原田愛・奥島雄一，脊椎動物グループの活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(301)：6。(1月14日)

昆虫グループ活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(301)：6。(1月14日)

奥島雄一，アオゴミムシ。自然のおはなし，104，山陽新聞(さん太タイムズ)，(48034)：12。(1月29日)

共著：原田愛・奥島雄一，脊椎動物グループの活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(302)：5。(2月11日)

昆虫グループ活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(302)：5。(2月11日)

「倉敷美しい森」の昆虫。しぜんしくらしき，(100)：15。(3月1日)

共著：原田愛・奥島雄一，脊椎動物グループの活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(303)：6。(3月11日)

昆虫グループ活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(303)：6。(3月11日)

共著：奥島雄一・近藤光宏・中野一成，ホシアシブトノハバチの記録。すずむし，倉敷，(152)：5-6。(3月31日)

江田伸司：動物担当(3件)

ケリ。自然のおはなし，山陽新聞(6月26日)

ジョウビタキ。自然のおはなし，山陽新聞。(10月23日)

アトリ。自然のおはなし，山陽新聞。(2月26日)

#### (4) 発表・講演

武智泰史：地学担当(2件)

武智泰史・浜根大輔，香川県丸亀市広島町の高縄石-(Y)とY・Pに富むジルコン，資源地質学会第66回年会講演会。(6月22~24日)

武智泰史・Adomako-Ansah Kofi・石山大三，岡山県吉備中央町の含金石英脈について，資源地質学会第66回年会講演会。(6月22~24日)

#### 5. 査読

奥島雄一：昆虫担当(1件)

10月22日 Japanese Journal of Systematic Entomology, Matsuyama.



### Ⅲ. 資料収集保管事業

#### 1. 寄贈標本 (敬称略)

##### (1) 地学分野 (計約320点)

7月1日	化石 (岡山県奈義町柿)	約50点	田邊一恵
8月31日	貝化石 (岡山県井原市千手院)	1点	中山公司
9月28日	化石・鉱物付録付雑誌一式		西田美千代
11月20日	鉱物	17点	武智泰史
11月25日	金銀鉱石 (群馬県片品村根羽沢鉱山)	1点	長原正人・吉江雄太
12月1日	銅鉱石 (チリ チュキカマタ鉱山)	1点	長原正人
12月9日	化石 (岡山県奈義町柿)	約50点	田邊一恵
12月15日	鉱物関係資料一式・顕微鏡1台		中西藤恵
2月5日	鉱物切手一式		岡本泰典
3月22日	昆虫化石	約200点	谷本 隆

##### (2) 植物分野 (計約8,400点)

4月7日	岡山県産植物標本	3点	裾分由美子	6月9日	岡山県産シダ植物標本	60点	溝手啓子
4月7日	宮崎県産植物標本	3点	稲神邦代	6月9日	グラジオラス属植物標本	3点	黒田健二
4月9日	岡山県産植物標本	14点	木下延子	6月11日	岡山県産植物標本	9点	木下延子
4月9日	岡山県産シダ植物標本	58点	溝手啓子	6月11日	国内産植物標本	109点	片山 久
4月15日	雑種タンポポ	1点	裾分由美子	6月13日	岡山県産植物標本	18点	田淵正和
4月23日	岡山県産植物標本	68点	田淵正和	6月23日	岡山県産植物標本	22点	溝手啓子
4月27日	岡山県産植物標本	8点	小橋理絵子	6月28日	岡山県産植物標本	12点	木下延子
5月1日	岡山県産植物標本	18点	片山 久	7月5日	国内産植物標本	72点	片山 久
5月6日	笠岡市産帰化植物標本	2点	小橋理絵子	7月5日	マルバサンキライ	1点	浅井幹夫
5月8日	岡山県産植物標本	53点	溝手啓子	7月8日	岡山県産植物標本	26点	木下延子
5月8日	岡山県産植物標本	39点	岡本泰典	7月9日	国内産植物標本	115点	片山 久
5月10日	岡山県産植物標本	1点	和田 優	7月15日	岡山県産シダ植物標本	46点	溝手啓子
5月12日	笠岡市真鍋島産植物標本	7点	森下裕子	7月16日	岡山県産植物標本	4点	木下延子
5月12日	国内産植物標本	56点	木下延子	7月20日	ソバナ	1点	稲神邦代
5月12日	愛媛県産植物標本	52点	稲神邦代	8月17日	岡山県産植物標本	37点	木下延子
5月14日	岡山県産植物標本	56点	片山 久	8月17日	国内産植物標本	91点	片山 久
5月17日	国内産植物標本	41点	田淵正和	8月17日	ソテツ雄花序	1点	吉竹秋彦
5月22日	岡山県産植物標本	23点	田淵正和	8月19日	広島県産植物標本	11点	代住晴羅
5月24日	国内産植物標本	75点	片山 久	8月19日	岡山県産植物標本	11点	中藤千晶
5月24日	岡山県産植物標本	245点	小島裕子	8月19日	岡山県産植物標本	14点	阪田祥子
5月24日	岡山県産植物標本	45点	岡本泰典	8月20日	岡山県産植物標本	108点	木下延子
5月26日	クジャクシダ	1点	稲神邦代	8月22日	岡山県産植物標本	63点	溝手啓子
5月26日	岡山県産植物標本	103点	木下延子	8月22日	岡山県産植物標本	16点	田淵正和
5月27日	岡山県産植物標本	1点	川上節子	9月1日	岡山県産植物標本	3点	小橋理絵子
5月27日	岡山県産植物標本	18点	溝手啓子	9月1日	岡山県産植物標本	1点	脇本 浩
5月31日	岡山県産植物標本	25点	小島裕子	9月4日	国内産植物標本	71点	岡本泰典
5月31日	岡山県産植物標本	4点	佐菜信也	9月8日	愛媛県産植物標本	35点	稲神邦代
6月4日	国内産植物標本	55点	高田 順	9月8日	ニセシマニシキソウ	1点	小橋理絵子
6月7日	カントウマムシグサ	1点	宮崎祐子	9月8日	国内産植物標本	42点	片山 久
6月7日	ウツギ属植物標本	3点	川上節子	9月12日	岡山県産植物標本	24点	田淵正和
6月9日	岡山県産植物標本	8点	裾分由美子	9月16日	岡山県産植物標本	4点	脇本 浩
6月9日	岡山県産植物標本	125点	木下延子	9月21日	岡山県産植物標本	11点	榎本 敬
				9月22日	ヒメシオン	1点	高原千春
				9月27日	岡山県産植物標本	20点	榎本 敬
				9月27日	国外産植物標本	27点	松本哲也
				9月27日	岡山県産植物標本	39点	木下延子
				9月27日	国内産植物標本	199点	溝手啓子
				9月28日	イトモ	1点	山田 勝
				10月2日	岡山県産植物標本	4点	榎本 敬
				10月6日	ツクシイバラ	1点	橋本真由子
				10月8日	セイタカトウヒレン	1点	片岡博行
				10月8日	岡山県産植物標本	7点	榎本 敬
				10月9日	岡山県産植物標本	35点	田淵正和
				10月10日	岡山県産植物標本	41点	榎本 敬
				10月11日	赤磐市産植物標本	11点	田淵正和
				10月18日	岡山県産植物標本	11点	榎本 敬
				10月23日	ヒメクマツヅラ	1点	稲神邦代
				10月23日	岡山県産植物標本	145点	木下延子

10月25日	国内産植物標本	122点	溝手啓子	5月11日	岡山県産昆虫類	2点	堀 幸子
10月29日	岡山県産植物標本	42点	木下延子	5月17日	岡山県産昆虫類	1点	岩藤真実
11月4日	岡山県産植物標本	163点	小島裕子	5月18日	岡山県産昆虫類	1点	太田日出明
11月4日	岡山県産セリ科植物標本	2点	川上節子	5月20日	岡山県産昆虫類	1点	和田直也
11月12日	岡山県産帰化植物標本	1点	小橋理絵子	5月22日	岡山県産昆虫類	1点	二神佑多
11月12日	岡山県産植物標本	25点	片山 久	5月24日	日本産昆虫類	200点	野崎達也
11月18日	岡山県産植物標本	10点	片山 久	5月25日	岡山県産昆虫類	1点	大林 力
11月18日	岡山県産植物標本	27点	木下延子	5月26日	岡山県産昆虫類	1点	谷口恭一
11月18日	国内産植物標本	17点	稲神邦代	6月2日	岡山県産昆虫類	1点	吉村文子
11月18日	国内産植物標本	17点	稲神邦代	6月2日	岡山県産昆虫類	2点	奥島雄一
11月20日	国内産植物標本	104点	田淵正和	6月8日	岡山県産昆虫類	10点	佐々木良一
11月26日	岡山県産植物標本	17点	榎本 敬	6月10日	岡山県産昆虫類	1点	藤井純一
11月26日	サルノコシカケ類	1点	奥島雄一	6月14日	岡山県産昆虫類	8点	岡野貴司
11月27日	岡山県産植物標本	7点	佐菜信也	6月15日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一
11月27日	アオヤギバナ	1点	浅井幹夫	7月6日	岡山県産昆虫類	13点	山崎法子
12月4日	タカネハンショウヅル	1点	矢守幸子	7月6日	岡山県産昆虫類	4点	佐々木良一
12月9日	岡山県産植物標本	73点	溝手啓子	7月7日	岡山県産昆虫類	7点	岡本泰典
12月10日	国内産植物標本	43点	岡本泰典	7月15日	日本産昆虫類	2点	安田剛長
12月10日	国内産植物標本	32点	木下延子	7月26日	岡山県産昆虫類	1点	島岡浩恵
12月15日	岡山県産植物標本	2点	田淵正和	7月26日	岡山県産昆虫類	1点	池田美代子
1月11日	国内産植物標本	140点	狩山俊悟	7月26日	岡山県産昆虫類	1点	木下延子
1月11日	岡山県産植物標本	76点	狩山俊悟	7月28日	岡山県産昆虫類	1点	田口栄次
1月13日	岡山県産植物標本	118点	狩山俊悟	7月28日	岡山県産昆虫類	1点	武田昴星
1月20日	岡山県産植物標本	27点	木下延子	8月2日	岡山県産昆虫類	7点	菅原 誠
2月1日	岡山県産植物標本	112点	小島裕子	8月2日	岡山県産昆虫類	1点	渋野満雄
2月9日	国内産植物標本	10点	稲神邦代	8月2日	岡山県産昆虫類	3点	稲神邦代
2月11日	岡山県産植物標本	30点	木下延子	8月19日	岡山県産昆虫類	5点	井上
2月14日	岡山県産植物標本	65点	小島裕子	8月29日	日本産昆虫類	16点	中野一成
2月26日	国内産植物標本	11点	地職 恵	8月30日	岡山県産昆虫類	3点	木下延子
2月26日	国内産植物標本	11点	稲神邦代	8月30日	岡山県産昆虫類	3点	藤本徹哉
3月8日	国内産植物標本	87点	小島裕子	9月9日	岡山県産昆虫類	9点	西本卓巳
3月8日	岡山県産植物標本	5点	木下延子	9月16日	岡山県産昆虫類	7点	岩藤真実
3月11日	岡山県産植物標本	240点	小島裕子	9月27日	日本産昆虫類	6点	藤本 緑
3月11日	国内産植物標本	51点	片山 久	9月28日	岡山県産昆虫類	1点	田口栄次
3月16日	岡山県産植物標本	349点	小島裕子	10月1日	岡山県産昆虫類	2点	吉原康雄
3月16日	ハナガガシ	1点	末長晴輝	10月1日	岡山県産昆虫類	1点	吉村文子
3月20日	岡山県産植物標本	154点	小島裕子	10月2日	岡山県産昆虫類	47点	武田寛生
3月21日	国内産植物標本	72点	田淵正和	10月5日	日本産昆虫類	2点	平野和典
3月22日	東京都産植物標本及び果実			10月6日	岡山県産昆虫類	1点	千田裕優
		5点	稲神邦代	10月12日	岡山県産昆虫類	1点	小田敦子
3月28日	国内産植物標本	145点	小島裕子	10月18日	日本産昆虫類	2点	藤澤匠人
3月30日	アッケシソウ樹脂包埋標本			10月18日	日本産昆虫類	8点	難波稔明
		2点	大阪市立自然史博物館	10月18日	岡山県産昆虫類	1点	埜 隼叶
3月31日	岡山県産植物標本	194点	狩山俊悟	10月21日	岡山県産昆虫類	1点	木下延子
3月31日	国内産植物標本	約3,000点	松本裕三	10月28日	日本産昆虫類	27点	佐々木良一
(3) 昆虫分野 (計9,670点)				11月1日	日本産昆虫類	20点	佐々木良一
4月7日	岡山県産昆虫類	5点	山田 勝	11月1日	岡山県産昆虫類	104点	武田寛生
4月15日	岡山県産昆虫類	1点	藤原一正	11月4日	日本産昆虫類	14点	真嶋 豪
4月27日	岡山県産昆虫類	8点	山本珠江	11月12日	岡山県産昆虫類	1点	小橋理絵子
4月30日	岡山県産昆虫類	2点	難波稔明	11月18日	岡山県産昆虫類	1点	原田喜代子
				11月23日	岡山県産昆虫類	1点	稲神邦代

11月26日	世界の昆虫類	103点	武田雅生
11月30日	岡山県産昆虫類	12点	岡本昭一
12月1日	日本産昆虫類	7点	佐々木良一
12月7日	世界の昆虫類	179点	重井春江他
12月7日	日本産昆虫類	4点	末長晴輝
12月7日	岡山県産昆虫類	1点	三宅哲人
12月11日	岡山県産昆虫類	29点	山地 治
12月11日	日本産昆虫類	4点	近藤光宏
12月13日	岡山県産昆虫類	1点	元岡かおり
12月13日	岡山県産昆虫類	1点	三澤修一
1月14日	岡山県産昆虫類	1点	山崎法子
1月17日	岡山県産昆虫類	6点	尾道区検察庁
1月24日	日本産昆虫類	13点	佐々木良一
2月1日	世界の昆虫類	1,405点	上村 直
2月17日	岡山県産昆虫類	2点	貝吹仁志
3月2日	世界の昆虫類	7,348点	富山明子
3月31日	岡山県産昆虫類	1点	藤原純子

(4) 動物分野 (計約3万点)

4月9日	シロハラ	1点	山崎法子
4月9日	イタチ	1点	山崎法子
4月14日	ニホンジカ	1点	岡本泰典
5月15日	動物標本	786点	川崎医科大学自然科学教室
4月21日	ブッポウソウ巣穴	1点	田中康敬
6月6日	ミシシippアカミミガメ	1点	片山 久
6月26日	陸貝	3点	佐々木良一
6月29日	オニグモ	1点	高本辰生
6月26日	クマタカ	1点	倉永建也
7月29日	ハクセキレイ	1点	山崎法子
8月20日	クモ	1点	三宅康裕
9月4日	哺乳類骨格	128点	頃末敏秀
9月15日	アシダカグモ	1点	笹本 了
10月15日	マダニ	1点	山崎法子
12月8日	ヤマコウモリ	3点	山田 勝
12月9日	日本産クモガタ類	1点	竹本篤紀
12月10日	オオコノハズクほか	2点	藤木精二
12月12日	ジネズミほか	5点	片岡博行
1月9日	メジロ	1点	國忠高広
1月14日	オオバンほか	2点	山崎法子
1月22日	メジロ	1点	小林 進
2月17日	センザンコウほか	2点	高谷哲夫
2月17日	シジュウカラ	1点	山崎法子
3月2日	ツグミ	1点	山崎法子
3月2日	アオバトほか	2点	小橋理絵子
3月24日	松本幸男貝類コレクション約3万点		松本裕三

2. 館員による採集

(1) 植物分野 (無記名は狩山俊悟採集)	計170点
4月12日 加賀郡吉備中央町大木	1点

5月29日	新見市菅生	1点
6月16日	美作市日指	2点
10月13日	真庭市上中津井	2点
10月14~15日	京都府宮津市小田ほか	156点
11月30日	総社市清音柿木ほか	3点
1月18日	岡山市中区祇園	1点
3月29日	浅口市鴨方町本庄	4点

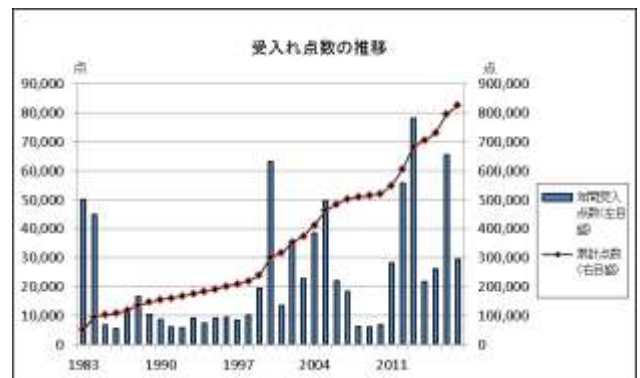
(2) 昆虫分野 (無記名は奥島雄一採集)

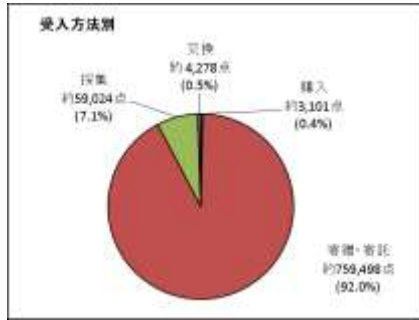
		計約829点
4月12日	吉備中央町豊岡下~豊岡上	43点
5月17日	吉備中央町案田	8点
5月22日	吉備中央町案田	40点
5月26日	倉敷市児島下の町	1点
6月7~8日	奈良県五條市	約350点
6月12日	笠岡市白石島	69点
6月15日	倉敷市真備町辻田	38点
6月16日	美作市日指	40点
6月24日	倉敷市上東	1点
6月25日	倉敷市真備町辻田	4点
6月26日	美作市日指	52点
7月8日	倉敷市曾原	2点 (神田佐奈恵)
7月18日	岡山市北区建部町品田	33点
7月24日	倉敷市曾原	5点 (神田佐奈恵)
7月24日	倉敷市曾原	11点
8月29日	倉敷市児島下の町	1点
10月13日	真庭市上中津井	38点
10月18日	倉敷市中央	4点 (奥島・神田)
10月23日	真庭市上中津井	71点
11月30日	総社市清音上中島	1点
12月4日	総社市清音上中島	12点
3月29日	浅口市鴨方町本庄	5点

(3) 動物分野 (無記名は江田伸司採集)

		計94点
6月26日	美作市江見	1点
9月14日	浅口市金光町八重	32点
10月16日	新見市大佐永富	59点
11月16日	倉敷市中央2丁目	1点
12月4日	総社市清音上中島	1点

3. 受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳





年度	地学	植物	昆虫	動物	受入れ点数	累計点数
1983以前		50,000			50,000	50,000
1983	125	1,664	約 42,627	562	約 44,978	約 94,978
1984	67	1,530	約 1,554	約 3,558	約 6,709	約 101,687
1985	153	3,079	1,842	445	5,519	約 107,206
1986	約 110	約 5,299	2,166	約 3,679	約 11,254	約 118,460
1987	約 335	11,559	1,938	約 2,660	約 16,492	約 134,952
1988	6	4,145	約 3,886	約 2,448	約 10,485	約 145,437
1989	1,057	4,138	約 2,295	約 1,217	約 8,707	約 154,144
1990	5	4,226	484	約 1,192	約 5,907	約 160,051
1991	0	3,672	708	約 1,390	約 5,770	約 165,821
1992	約 19	3,759	4,486	約 822	約 9,086	約 174,907
1993	398	3,583	2,334	972	7,287	約 182,194
1994	145	3,367	約 4,891	703	約 9,106	約 191,300
1995	20	3,634	3,413	約 2,256	約 9,323	約 200,623
1996	45	6,284	約 1,883	36	約 8,248	約 208,871
1997	303	6,358	約 3,227	316	約 10,204	約 219,075
1998	763	8,945	約 9,281	約 443	約 19,432	約 238,507
1999	25	26,852	約 36,051	約 298	約 63,226	約 301,733
2000	40	12,398	1,062	16	約 13,516	約 315,249
2001	27	約 12,496	約 21,630	約 1,833	約 35,986	約 351,235
2002	約 1,015	8,020	約 13,385	約 442	約 22,862	約 374,097
2003	11	6,662	約 31,676	21	約 38,370	約 412,467
2004	約 95	6,004	約 43,298	165	約 49,562	約 462,029
2005	33	約 7,224	約 13,861	889	約 22,007	約 484,036
2006	18	3,652	約 13,874	約 840	約 18,384	約 502,420
2007	約 216	4,431	約 1,393	98	約 6,138	約 508,558
2008	58	4,484	839	約 542	約 5,923	約 514,481
2009	37	3,183	約 3,230	206	約 6,656	約 521,137
2010	約 1,008	10,346	約 16,635	72	約 28,061	約 549,198
2011	69	9,032	約 46,371	269	約 55,741	約 604,939
2012	361	約 10,801	約 63,907	約 3,123	約 78,192	約 683,131
2013	61	3,305	約 17,421	約 945	約 21,732	約 704,863
2014	約 869	約 9,062	約 15,070	約 999	約 26,000	約 730,863
2015	140	5,334	約 30,068	約 30,013	約 65,555	約 796,418
2016	約 320	約 8,570	約 10,499	約 10,094	約 29,483	約 825,901
合計	約 7,954	約 277,098	約 467,285	約 73,564	約 825,901	

4. 二次資料

(1) 寄贈者・交換先 (敬称略, 入力完了のみ)

[個人]

浅井幹夫, 奥島雄一, 狩山俊悟, 河邊誠一郎, 小島裕子, 柴川敏之, 清水千恵子, 末長晴輝, 杉江喜寿, 田邊一恵, 宮誠而

[機関・団体]

浦幌町立博物館, 釧路市立博物館, 帯広百年記念館, 小樽市総合博物館, 北海道教育大学, 北海道博物館, 斜里町立知床博物館, ひがし大雪自然館, 北海道大学大学院水産科学研究院, 根室市歴史と自然の資料館, 三笠市立博物館, 利尻町立博物館, 北方山草会, 苫小牧市美術館, むかわ町立穂別博物館, 美幌博物館, 青森県立郷土館, 弘前大学白神自然環境研究所, 岩手県立博物館, 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団, 秋田県立博物館, 秋田大学大学院国際資源学部附属鉱業博物館, 米沢市教育委員会文化課, 米沢市上杉博物館, 山形大学附属博物館, 農業環境技術研究所, つくば市ゆかりの森昆虫館, 筑波大学生命環境科学研究科地球進化科学専攻, 森林総合研究所, ミュージアムパーク茨城県自然博物館, 那須平成の森フィールドセンター, 那須塩原市那須野が原博物館, ぐんま昆虫の森, 群馬県立博物館友の会, 群馬県立自然史博物館,

埼玉県立川の博物館, 埼玉県立自然の博物館, 川口市立科学館, 山階鳥類研究所, 千葉県立中央博物館房総の山のフィールドミュージアム, 東レ科学振興会, 千葉県立中央博物館, 我孫子市鳥の博物館, 日本博物館協会, 科学技術振興機構, 公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館, ニュートンプレス, ニューサイエンス社, 新興出版社啓林館, 数研出版, 童心社, 国立科学博物館, 府中市郷土の森博物館, 環境事業団地球環境基金部, 東京大学総合研究博物館, 日本鳥類保護連盟, 日本鯨類研究所, 全国科学博物館協議会, 日本昆虫協会, 地学団体研究会, WWF JAPAN, 国立極地研究所, 日本野鳥の会, 日本チョウ類保全協会, 特定非営利活法人バードリサーチ, 文一総合出版, 国立局地研究所, 月刊むし社, 目黒寄生虫館, 東京農業大学学術情報課程, 日本ユネスコ協会連盟, THE BOTANICAL SOCIETY OF JAPAN, 横須賀市自然博物館・横須賀市人文博物館, 平塚市博物館, 農林水産省横浜植物防疫所, 川崎市教育委員会, 日本大学生物資源科学部博物館, 神奈川県立生命の星・地球博物館, 環境省自然環境局生物多様性センター, 山梨生物同好会, 山梨県植物研究会, 伊那谷自然友の会, 信州大学農学部, 大町山岳博物館, 長野市立博物館, 野尻湖ナウマンゾウ博物館, 長岡市立科学博物館, 富山県中央植物園, 富山市科学博物館, 石川県白山自然保護センター, のと海洋ふれあいセンター, 石川県ふれあい昆虫館, 石川県立自然史資料館, 石川県巨樹会, 福井県自然保護センター, 福井市自然史博物館, 福井県立恐竜博物館, 瑞浪市化石博物館, 熱帯動植物友の会, 東海大学海洋科学部博物館, 沼津市歴史民俗資料館, NPO静岡県自然史博物館ネットワーク, 東海大学社会教育センター, 静岡県自然保護協会, 東海大学海洋学部博物館, ふじのくに地球環境史ミュージアム, 東海大学海洋科学部博物館東海大学海洋学部博物館編集委員会館, 豊田市矢作川研究所, 名古屋市環境局なごや生物多様性センター, 豊橋市自然史博物館, 三重県総合博物館, 藤原岳自然科学館, 鳥羽水族館, 日本地学研究会, 関西菌類談話会, 京都大学フィールド科学教育研究センター, 大阪市立自然史博物館, 高槻市都市創造部下水河川企画課, 関西自然保護機構, あくあびあ芥川共同活動体, 大阪府富実面公園昆虫館, きしわだ自然資料館, 大阪府茨木土木事務所, 日本直翅類学会, 伊丹市昆虫館友の会, 伊丹市昆虫館, 姫路市立水族館, 姫路科学館, 兵庫県立人と自然の博物館, 神戸市立須磨海浜水族園, 神戸女子大学, 近畿植物同好会, 和歌山県立自然博物館, 和歌山市立博物館, 氷ノ山自然ふれあい館響の森, 鳥取県立博物館, 鳥取昆虫同好会, (財)三瓶フィールドミュージアム財団, ホシザキグリーン財団, 島根県立宍道湖自然館, 山陰むしの会, (一般社団法人)日本樹木医学会岡山県本部, 岡山の自然を守る会, 倉敷昆虫同好会, 倉敷の自然をまもる会, 阿智神社社務所, 倉敷市市史編さん室, 岡山県郷土文化財団, 岡山市立オリエント美術館, 岡山県古代吉備文化財センター, 岡山県自然保護センター, 岡山理科大学自然植物園, 岡山淡水魚研究会, 岡山県天神山文化プラザ, 岡山県博物館協議会, 岡山県立美術館, 岡山県立博物館, 岡山県環境保全事業団, 岡山県水産試験場, 岡山市立半田山植物園, 岡山理科大学自然科学研究所, 岡山コケの会, 岡山大学文学部, ノートルダム清心学園清心女子高等学校, 日本野鳥の会岡山県支部, 浅口市寄島町アッケシソウを守る会, 岡山県農林水産総合センター, 日本博物館協会中国支部, 倉敷市立自然史博物館友の会, 岡山市シティミュ

ージアム, 岡山県立記録資料館, 岡山昆虫談話会, 倉敷市立自然史博物館, 倉敷市立中央図書館, 高梁川流域連盟, 中庄の歴史を語り継ぐ会, 瀬戸内海歴史民俗資料館, 広島大学総合博物館, 比婆科学教育振興会, 広島市植物公園, 中国電力(株)エネルギー総合研究所, 萩博物館, 山口県立山口博物館, 秋吉台科学博物館, 防府市青少年科学館, 徳島県立博物館, 香川生物学会, 愛媛県総合科学博物館, 日本昆虫分類学会, 面河山岳博物館, 高知県越知町立横倉山自然の森博物館, 高知県牧野記念財団, 森林総合研究所四国支所, 九州大学総合研究博物館, 佐賀自然史研究会, 天草市立御所浦白亜紀資料館, 熊本市立熊本博物館, 日田市立博物館, 九州保健福祉大学, 宮崎県総合博物館, 鹿児島県立博物館, 鹿児島大学総合研究博物館, THE INTEREST (DOKBIA), Korea National Arboretum, Deutsches Entomologisches Institut, Natural History Museum Basel.

(2) 寄贈 (入力完了のみ)

単行書: 107冊, 雑誌: 191冊

(3) 交換 (入力完了のみ)

単行書: 43冊, 雑誌: 563冊

(4) 購入

[備品] 単行書: 3冊

[消耗品] 単行書: 42冊, 雑誌: 64冊

5. 登録済み資料点数 (平成29年3月31日現在)

(1) 地学	計7,191点 (内28年度420点)
鉱物	2,403点 (内28年度361点)
岩石	1,561点 (内28年度15点)
化石	3,227点 (内28年度44点)
(2) 植物	計225,012点 (内27年度7,426点)
維管束植物	225,012点 (内27年度7,426点)
(3) 昆虫	計198,361点 (内28年度7,007点)
日本産昆虫類	158,431点 (内28年度4,836点)
外国産昆虫類	39,930点 (内28年度2,171点)
(4) 動物	計27,472点 (内28年度137点)
無脊椎動物	11,733点 (内28年度1点)
哺乳類	80点 (内28年度1点)
鳥類	162点 (内28年度3点)
両生類・爬虫類	371点 (内28年度1点)
魚類	15,059点 (内28年度131点)
その他	67点 (内28年度0点)
(5) 二次資料	
図書	11,819冊 (内28年度278点)
逐次刊行物	34,115冊 (内28年度817点)

6. 標本整理ボランティアの活動

(1) 植物分野 (敬称略)

標本マウント・データ入力: 入江和喜, 島岡浩恵, 高林民雄, 松田恵子, 難波知佳子, 若林保子, 東口ふみ, 弘中一江, 大江宏, 田辺義明, 田辺昭子, 川上節子, 畑井富子, 菱川千尋, 畑井麻衣, 花岡幸穂. 延べ322回

(2) 昆虫分野 (敬称略)

大森斉, 岡野貴司, 斉藤陽一, 坂本優, 佐々木良一, 白神正則, 高柳有美, 宮原康則. 延べ215回.

(3) 動物分野 (敬称略)

山崎法子. 延べ42回

(4) 脊椎動物グループ (敬称略)

安達由莉, 井関武弘, 井上弘子, 岩井賢一, 上野祥子, 上野萌奈美, 内田理絵, 江川達也, 大山高弘, 大山達仁, 大山望実, 奥島万葉, 奥島万里, 奥島雄一, 加藤直樹, 木越竜平, 櫛田楓, 小橋理絵子, 小山一樹, 頃末敏秀, 坂本明弘, 清水小波, 辻優子, 中藤駿, 中川朋美, 中原清江, 中本紗耶加, 萩原真由美, 原田愛, 福永晴菜, 藤本真由美, 山田晃平. 延べ182回

事業の概要: 駆除個体の譲り受けと事故個体の拾得により, ボランティア主導で動物標本の作製と活用に取り組み, スキルアップを目指す. 作製した標本は博物館資料として恒久的な管理のもとで展示・普及活動で活用し, 博物館活動の輪を一般市民に広げる.

7. 博物館のお宝探検ツアー

標本収蔵庫の貴重なお宝見学ガイド (予約制).

昆虫 18回

8. 館外者による収蔵資料の利用 (ボランティア活動・お宝探検ツアー除く)

- (1) 地学 1件
- (2) 植物 49件
- (3) 昆虫 87件
- (4) 動物 1件
- (5) 二次資料 41件

9. 収蔵資料を活用した業績 (使用后, 当館へ寄贈されたものも含む)

(1) 植物分野 (9件)

狩山俊悟・小島裕子, 岡山市東区犬島の植物, しぜんしくらしき, (97):6-9. (6月1日)  
 狩山俊悟, 高梁市川上町上大竹でモウコタンポポを確認, しぜんしくらしき, (97):20. (6月1日)  
 小橋理絵子, 岡山県新産の帰化植物3種の記録〜メリケントキンソウ, コウマゴヤシ, ウナダレツメクサ〜, しぜんしくらしき, (98):2-3. (9月1日)  
 岡本泰典, 百間川河川敷でニチナンオオバコを発見, しぜんしくらしき, (98):15. (9月1日)

狩山俊悟, アベマキ, 倉敷の自然, (101):1-2. (11月30日) 岡本泰典, 1枚の標本が伝える「採集動員」, しぜんしくらしき, (99):11-14. (12月1日)

岡本泰典・狩山俊悟, 倉敷市立自然史博物館が所蔵する牧野富太郎博士の吉野善介あて貴重書簡. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (32):49-61. (3月25日)

狩山俊悟, 岡山県植物誌資料(16) 岡山県のカワソウ科. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (32):63-77. (3月25日)

狩山俊悟, コバノミツバツツジ, 倉敷の自然, (102):1-2. (3月31日)

## (2) 昆虫分野 (16件)

Hsiao, Y., Y. Okushima & P-S. Yang, Review of the genus *Stenothemus* Bourgeois from Taiwan, with description of three new species (Coleoptera: Cantharidae) and additional distributional records of previously known species. Zootaxa, 4117(1): 101-114. (5月31日)

Hsiao, Y. & Y. Okushima, A new species of the genus *Lycocerus* from Taiwan (Coleoptera, Cantharidae). Acta Entomologica Musei Nationalis Pragae, 56(1): 255-264. (7月15日)

岡本泰典, 岡山県南部におけるシロヘリツチカメムシの分布情報. しぜんしくらしき, (98): 6. (9月1日)

Li, L., L. Zhang, Y. Yang & Y. Okushima, A contribution to the knowledge of the genera *Fissocantharis* Pic, 1921 and *Micropodabrus* Pic, 1920 from Taiwan (Coleoptera, Cantharidae). European Journal of Taxonomy, 243: 1-37. (11月14日)

奥島雄一・藤本緑, スズムシ雌雄型の追加記録. 月刊むし, 東京, (550): 16. (12月1日)

奥島雄一・植松蒼, ネグロクサアブの記録. しぜんしくらしき, (99): 9-10. (12月1日)

奥島雄一, 美作市作東地域の昆虫. しぜんしくらしき, (99): 18-19. (12月1日)

奥島雄一, サトクダマキモドキの黄色型. しぜんしくらしき, (99): 20. (12月1日)

Takahashi, N., Records of *Malthodes longipygus* and *M. masatakai* (Coleoptera, Cantharidae, Malthininae). Elytra, New series, 6(2): 291-293. (12月25日)

武田雅生, 岡山市産甲虫の記録について. みちしるべ, 岡山, (53): 567-568. (2月26日)

奥島雄一, 50年前の標本. 今月の話題, 倉敷, (400). (3月1日)

中野一成・佐々木良一, 倉敷市におけるエゾナガヒゲカミキリの記録. しぜんしくらしき, (100): 3. (3月1日)

奥島雄一, 「倉敷美しい森」の昆虫. しぜんしくらしき, (100): 15. (3月1日)

田中敏明・奥島雄一, 鳥取県辰巳峠の上部中新統から産出した *Gyatermes* 属のシロアリ前翅化石(ゴキブリ目, シロアリ下目, Archoterompsidae 科), 1-6. (3月25日)

奥島雄一・近藤光宏・中野一成, ホシアシブトハバチの記録. すずむし, 倉敷, (152): 5-6. (3月31日)

武田寛生, 津山市小田中の甲虫の記録. すずむし, 倉敷, (152): 41-44. (3月31日)

武田寛生, 岡山県島嶼部の甲虫の記録. すずむし, 倉敷, (152): 44-45. (3月31日)

## (3) 動物分野 (1件)

小林秀司・太田日出明・奥島雄一, 岡山県内で初めて得られたハクビシン(ネコ目, ジャコウネコ科)とその胃内容, ならびに外部寄生虫, 41-48. (3月25日)

## 10. 収蔵庫の充実

植物標本庫1台.

## 11. 収蔵庫の燻蒸

場所: 第一収蔵庫(使用薬剤: エキヒュームS)

期間: 6月26日~28日(臨時休館日: 6月28日)

# IV. 教育普及事業

## 1. 自然観察会

4月9日 第271回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2016年春」倉敷市寿町, 87名

4月10日 第272回自然観察会「メジロとランチ♪」岡山市北区津島, 38名

5月22日 第273回自然観察会「おかやま自然探訪49」吉備中央町高富, 49名

6月26日 第274回自然観察会「おかやま自然探訪50」美作市江見, 34名

7月16日 第275回自然観察会「ブッポウソウ巣立ち観察会」吉備中央町, 29名

7月24日 第276回自然観察会「夏だ! 昆虫採集」倉敷市曾原, 159名

8月13日 第277回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2016夏&セミのぬけがら調査」倉敷市寿町, 114名

9月11日 第278回自然観察会「ミズアオイ観察会」倉敷市加須山, 57名

10月2日 第279回自然観察会「津黒のきのご観察会」真庭市蒜山, 20名

10月23日 第280回自然観察会「おかやま自然探訪51」真庭市上中津井, 35名

10月30日 第281回自然観察会「地学観察会」倉敷市鶴形, 27名

11月12日 倉敷みらい公園の生き物しらべ2016年秋 倉敷市寿町, 53名

12月4日 第282回自然観察会「おかやま自然探訪52」総社市清音, 46名

2月11日 第270回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2017年冬」倉敷市寿町, 47名

## 2. 博物館講座

6月11日 「昆虫おりがみ教室」 59名

7月23日 「昆虫の採集方法と標本作り」 60名

7月24日 「植物の採集方法と標本作り」 22名

12月10日 「色鉛筆で昆虫を描こう」 19名

1月15日 「学芸員研究紹介—地学—:金銀銅の自然界からの産出と人とのかかわりについて」 17名

2月26日 「学芸員研究紹介—植物—:岡山県に産するフウロソウ科の植物」 34名

3月11日 「学芸員研究紹介—動物—:岡山県のブッポウソウについて」 45名

3月20日 「学芸員研究紹介—昆虫—:日本最大のシロアリ化石の発見—辰巳峠の昆虫化石から—」 62名

## 3. 自然の標本なんでも相談会

8月21日 地学・植物・昆虫・動物 117名

## 4. 植物教室

5月28日「探鳥コースの樹木をみる会」倉敷市児島由加 17名

9月18日「公園の樹木をみる会」倉敷市児島唐琴 11名

## 5. 動物研究会

5月29日「第6回魚類調査」浅口市金光町八重 39名

## 6. むしむし探検隊

隊長:奥島雄一(館員)

副隊長:大森斉, 岡野貴司, 中野一成, 加藤学, 末長晴輝, 北啓介, 橋本響, 池上弘季, 武田寛生, 武田雅生

カメラマン:藤本徹哉

アシスタント:神田佐奈恵(館員)

隊員(小5~高3): 14名

4月17日 オリエンテーション 42名

6月12日 第1回探検 笠岡市白石島 20名

7月18日 第2回探検 岡山市北区建部町 19名

7月23日~9月19日 博物館ボランティア活動  
(各自1日以上) 延べ43名

10月1日~11月6日 「しぜんしくらしき賞」作品応募  
14名

11月3日 自然史博物館まつり参加 22名

3月20日 研究発表会 62名  
(参加者延べ222名)

## 7. 手作り教室

毎月第2日曜日 延べ180名

## 8. 折り紙教室

毎月第4日曜日 延べ971名

## 9. スライド映写会

12月10日 「花の百名山を訪ねて3~鳥海山・月山・浅草岳~」 32名

## 10. 昆虫標本作り体験教室

希望者(事前予約)を対象とした昆虫標本作り

4月3日 1名, 4月30日 3名, 5月1日 3名, 6月11日 1名, 6月25日 1名, 6月26日 2名, 7月10日 1名, 8月9日 5名, 8月7日 3名, 8月11日 5名, 8月18日 4名, 8月26日 2名, 8月30日 2名(計33名)

## 11. 特別企画 自然史ワークショップ

標本作り体験・鱗粉転写しおり・カブトムシ幼虫プレゼント&育て方相談

5月3日 250名, 5月5日 190名(計440名)

標本作り体験・鱗粉転写しおり・缶バッジ・みつろうキャンドル・クイズラリー・昆虫にさわってみよう・ゲンジロウ絵合わせ

8月6日 140名, 8月11日 224名, 8月20日 112名  
(計476名)

## 12. 11月3日は自然史博物館まつり

日時:11月3日(木・祝)

時間:8時45分~16時

会場:倉敷市立自然史博物館, くすのき広場

主催:倉敷市立自然史博物館

共催:倉敷市立自然史博物館友の会

後援:(公社)倉敷観光コンベンションビューロー

出展:草間台エコミュージアム推進協議会, 非営利活動法人フオレストフォーピープル岡山, 岡山クワガタ研究会, 岡山理科大学, 倉敷昆虫館, 重井薬用植物園

開会式:8時45分~9時

どんぐりごま選手権:9時~15時30分

クイズラリー:9時~16時

倉敷市環境学習センター出展ブース:9時~16時

いもむしランド:9時~16時

スズメバチの巣解体ショー:10時30分~, 14時30分~

化石さがし:11時~11時30分, 15時30分~16時

むしむし探検隊と行く昆虫お宝探検&標本作りツアー:9時~15時

学芸員によるお宝探検ツアー:植物11時30分~, 地学13時30分~, 動物14時30分~

ヘラクレスドーム:9時~16時

倉敷昆虫館・重井薬用植物園出展ブース:9時~16時

草間台エコミュージアム推進協議会出展ブース:9時~16時

非営利活動法人フオレストフォーピープル岡山ワークショップ:9時~12時, 13時~16時

喫茶コーナー:9時30分~16時

岡山理科大学 ホネホネ鑑定団：9時～16時  
 缶バッジ作り：10時～15時30分  
 遊ぼう！みんなの動物ラボ：9時～16時  
 遊ぼう！みんなの動物ラボワークショップ：9時30分～、13時～、14時～  
 手作り教室（がりがりトンボ）：10時～12時  
 手作り教室（ティラノサウルスをつくろう）：14時～16時  
 折り紙コーナー：9時30分～16時  
 （参加者数：12,389名，参加者満足度：93%）

### 13. 出版物

[今月の話題]

- No. 389 4月「ゴホンダイコクコガネ」奥島雄一  
 No. 390 5月「床板サンゴ類」武智泰史  
 No. 391 6月「メジロ」江田伸司  
 No. 392 7月「アゲハのひみつ」奥島雄一  
 No. 393 8月「金銀銅にちなんだ植物」狩山俊悟  
 No. 394 9月「岡山県金銀銅」武智泰史  
 No. 395 10月「サシバの秋の渡り」江田伸司  
 No. 396 11月「スズキベッコウハナアブ」奥島雄一  
 No. 397 12月「干支（トリ）にちなんだ植物」狩山俊悟  
 No. 398 1月「世界初の新種の鉱物」武智泰史  
 No. 399 2月「ヤマセミ」江田伸司  
 No. 400 3月「50年前の標本」奥島雄一

### 14. レファレンス

質問、同定依頼、研究協力、原稿校閲、マスコミ取材等への対応（計1,186件）

- (1) 地学 133件  
 (2) 植物 330件  
 (3) 昆虫 552件  
 (4) 動物 164件  
 (5) その他 7件

### 15. 学校園等見学ガイダンス

小学校53校、中学校4校、高校1校、支援学校2校

### 16. 博物館実習生等の受け入れ

(1) 博物館実習

総合分野：8月16～21日 阪田祥子（岡山大学），中藤千晶（岡山大学），代住晴羅（岡山理科大学）。

(2) 博物館見学（当館職員が対応したもの）

- 5月27日 香川県環境森林部みどり保全課 3名  
 5月28日 くらしき作陽大学 5名  
 6月19日 岡山理科大学 33名  
 9月18日 岡山商科大学 4名  
 10月12日 岡山理科大学 19名  
 10月29日 岡山大学 31名  
 12月21日 倉敷芸術科学大学 4名

- 1月14日 倉敷市立小学校理科教諭研修 19名  
 1月20日 山口県立山口博物館 1名  
 2月22日 福山市立大学 55名

### (3) インターンシップ

昆虫・脊椎動物標本分野：依田智裕（岡山理科大学）8月30～31日，9月2～4，6～8日（8日間），西出達貴（岡山県立大学）8月25～26，30～9月1日（5日間）。  
 植物分野：森下岳史（岡山理科大学）8月16～21，23日（7日間）。

### (4) 小中高校生の実習

[職場体験]

- 5月11日～13日 倉敷市立新田中学校 4名  
 7月4日～7日 倉敷市立水島中学校 2名  
 7月5日～7日 倉敷市立真備東中学校 3名  
 9月13日～15日 倉敷市立東陽中学校 2名  
 10月18日～20日 早島町立早島中学校 4名  
 10月25日～27日 倉敷市立連島南中学校 2名  
 10月26日～28日 倉敷市立南中学校 2名  
 11月15日～17日 倉敷市立第一中学校 2名  
 11月15日～17日 岡山市立高松中学校 2名  
 1月24日～26日 倉敷市立西中学校 5名  
 2月10・14・15日 岡山県立倉敷天城中学校 4名

[総合的な学習]

- 11月15日 岡山市御南中学校 21名  
 2月7日 倉敷市立東中学校 8名

### 17. 講師派遣（「出前講座」を含む）

(1) 狩山俊悟：植物担当（28回）

4月5日 「市民登山学校4月定例講座『植物について』」，高松市創造都市推進局文化・観光・スポーツ部スポーツ振興課。  
 4月24日 「自然観察会『春の吉備中央町』」，倉敷市立自然史博物館友の会。

4月30日 「2016年登山教室『花の名山を訪ねて』」，岡山ハイキングクラブ。

5月20日 「出前講座／身近な野生植物の観察やお話」，倉敷市立柳井原小学校。

5月28日 「博物館見学実習」，くらしき作陽大学。

6月15日 「出前講座／倉敷市立自然史博物館について」，倉敷芸術科学大学。

6月25日 「自然観察会『ナゴヤダルマガエルとその環境をみよう（ナゴヤダルマガエル観察会18）』」，倉敷市立自然史博物館友の会。

7月13日 「出前講座／身近な野生植物の観察とお話（西表島の植物）」，岡山県立玉島高等学校。

7月26日 「出前講座／身近な野生植物の観察とお話『身近な草花を調べよう～夏休みの自由研究～』」，倉敷市茶屋町公民館。

7月28日 「倉敷の自然と植物」，岡山県立倉敷南高等学校。

7月30～31日 「宿泊自然観察会『奈義町で高原の夏を満喫しよう！』」，倉敷市立自然史博物館友の会。



8月7日 「日本シダの会中国支部研究会」, 日本シダの会中国支部.

9月4日 「平成28年度秋季特別展『安野光雅 御所の花』スペシャルギャラリートーク」, 新見美術館.

9月15日 「出前講座/身近な野生植物の観察やお話(長尾神社境内の植物)」, 長尾神社.

9月17日 「平成28年度日本樹木医会中国地区協議会観察会『岡山県の石灰岩地域の植生』」, 日本樹木医会中国地区協議会岡山県支部.

9月30日 「平成28年度理科観察, 実験基礎研修講座(第2日)『自然史博物館の紹介』『岡山県のタンポポ』』『自然史博物館の学校教育支援活動の紹介』」, 岡山県総合教育センター.

10月9日 「自然観察会『第21回シダの世界』」, 倉敷市立自然史博物館友の会.

10月19日 「出前講座/倉敷市立自然史博物館について『社会人講師による講演会』」, 岡山県立倉敷古城池高等学校.

10月30日 「平成28年度鷺羽山地区パークボランティア研修会『鷺羽山周辺樹木の観察』」, 環境省中国四国地方環境事務所岡山自然保護官事務所.

11月6日 「羅生門ウォーク」, 羅生門を守る会.

11月13日 「出前講座/身近な野生植物の観察やお話(鷺羽山植物観察会)」, 鷺羽山の景観を考える会.

11月20日 「自然観察会『出雲へGO!』」, 倉敷市立自然史博物館友の会.

11月22日 「出前講座/身近な野生植物の観察やお話」, 清心女子高等学校.

1月14日 「倉敷市立小学校理科教諭研修」, 倉敷科学センター.

1月22日 「自然観察会『真鍋島の自然』」, 倉敷市立自然史博物館友の会.

2月2日 「研究会『博物館が伝え, 残す瀬戸内の自然—沿岸の広域連携による成果』岡山方面の事例報告, 大阪市立自然史博物館.

3月9日 「岡山自然塾『岡山の植物』」, 岡山市半田山植物園.

3月26日 「ミズアオイの種まき会」, 倉敷市立自然史博物館友の会.

#### (2) 奥島雄一: 昆虫担当 (16回)

6月23日 「どこでも昆虫採集」 倉敷市立庄小学校3年1組 41名.

6月23日 「どこでも昆虫採集」 倉敷市立庄小学校3年2組 41名.

6月24日 「どこでも昆虫採集」 倉敷市立庄小学校3年3組 41名.

6月24日 「どこでも昆虫採集」 倉敷市立庄小学校3年4組 41名.

7月1日 「どこでも昆虫採集」 倉敷市立粒江小学校3年生 80名.

7月21日 「どこでも昆虫採集」 郷内児童クラブ 85名.

7月22日 「どこでも昆虫採集」 大高小学校学校学校支援ボランティア 50名.

7月22日 「どこでも昆虫採集」 大高小学校学校学校支援ボランティア 70名.

7月27日 「どこでも昆虫採集」 西阿知児童クラブキッズキッズ 100名.

7月29日 「どこでも昆虫採集」 上成キラキラ児童クラブ(支援①) 40名.

8月4日 「どこでも昆虫採集」 上成キラキラ児童クラブ(支援②) 60名.

8月4日 「どこでも昆虫採集」 四福小児童クラブ 75名.

8月5日 「どこでも昆虫採集」 にまっこ児童クラブ 30名.

8月12日 「どこでも昆虫採集」 味っ子クラブ 45名.

8月27日 「自然史博物館のひみつ」東京農業大学校友会岡山県支部総会 44名.

10月7日 「どこでも昆虫採集」 倉敷市立粒江小学校3年生 86名.

3月11日 「探求活動成果発表会」金光学園中学・高等学校.

#### (3) 江田伸司: 動物担当 (1回)

11月29日 ノートルダム清心女子高等学校SSH 20名.

#### (4) 武智泰史: 地学担当 (1回)

4月16日(土) 「岩石や鉱物と化石」中庄の歴史を語り継ぐ会 36名.

### 18. マスコミ報道 (館名・氏名公表分のみ)

#### (1) 倉敷市立自然史博物館 (14件)

(以下, 奥島, 狩山関係分のみ)

4月10日発行 山陽新聞(さん太タイムズ), 「むしむし探検隊で昆虫の知識学ぼう, 倉敷・自然史博物館」.

4月14日発行 山陽新聞(倉敷・総社圏版), 「昆虫の知識学ぼう, 倉敷市立自然史博物館, むしむし探検隊員募る」.

5月12日放映 OHK岡山放送, 「OHKスーパーニュース」, 「本物そっくりおりがみ昆虫展, 世界も認める技術」.

6月26日発行 山陽新聞(倉敷・総社圏版), 「ダルマガエルを観察, 真備, 市民ら生息環境学ぶ」.

7月24日以降放映 倉敷ケーブルテレビ, ニュース「夏だ! 昆虫採集」.

8月10日発行, 山陽新聞「瀬戸内海 関心深めて, 玉島で大阪・自然史博展」.

8月14日発行 山陽新聞(倉敷都市圏版), 「倉敷の企業, 博物館, 夏休み子ども向け企画, ワークショップや工場見学」.

8月20日発行 朝日新聞(岡山), 「学芸員と一緒に自由研究に挑戦, 21日倉敷」.

9月25日発行 山陽新聞(倉敷・総社圏版), 「備中路」(赤いクビキリギス) .

10月2日発行 山陽新聞(倉敷・総社圏版), 「オオルリボシヤンマ, 倉敷で20年ぶり確認, 日本トンボ学会・守安さん(福田南中教頭), 種松山の池, 飛ぶ姿撮影成功」.

10月7日発行 山陽新聞(ちまた)、「難波さん勇退後も虫展を」。

11月1日発行, 山陽新聞「親子で関心深めて, 倉敷で今週, 自然科学イベント, 植物・化石を身近に」。

11月5日発行 山陽新聞(倉敷都市圏版)、「ハチの巣解体に驚き, 倉敷市立自然史博物館, 開館記念日まつり」。

12月13日発行, 山陽新聞「植物採集の逸話紹介, 重井薬用植物園・古屋野名誉園長, 新着資料展でトーク」。

#### (2) 武智泰史:地学担当(4件)

6月17日放送 エフエムくらしき, 週間くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「6~7月の催し物について」。

7月15日放送 エフエムくらしき, 週間くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「特別展 金銀銅の自然史 について」。

8月31日放送 RSK, きょうのラジまる, 「特別展 金銀銅の自然史 について」。

2月17日放送 エフエムくらしき, 週間くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「3月の催し物について」。

#### (3) 狩山俊悟:植物担当(9件)

4月8日放送, NHK岡山放送局, ローカルニュース「岡山県のタンポポ」。

4月9日発行, 山陽新聞「タンポポ分布紹介, パネルや標本展示」。

4月15日放送, エフエムくらしき, 週間くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「岡山県のタンポポ」。

4月26日放送, 岡山放送, みんなのニュース「季節はずれに開花したソメイヨシノ」。

8月24日発行, 山陽新聞「来島者向け 木に名札, アートで注目 岡山・犬島住民」。

9月5日発行, 山陽新聞「新見美術館・安野光雅『御所の花』展, 植物専門家が解説, 地元で観察の草花紹介」。

10月21日放送, エフエムくらしき, 週間くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「第16回『11月3日は自然史博物館まつり』」。

11月18日放送, エフエムくらしき, 週間くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「特別陳列『新着資料展2016』と干支(トリ)にちなんだ植物」。

11月27日発行, 山陽新聞「県内発見の新種・希少標本一堂に, 倉敷市立自然史博物館で新着資料展, 水生食虫植物など注目」。

#### (4) 奥島雄一:昆虫担当(20件)

5月10日発行 山陽新聞(倉敷都市圏版)、「昆虫標本1万5000点, 倉敷市立自然史博物館で公開, 近藤元館長が採集, 新種や本州初確認, 折り紙作品も」。

5月20日放送 山陽放送ラジオ, 「昼からど~たい!」(特別陳列「新着資料展—近藤光宏昆虫コレクション展」・「おりがみ昆虫展Origami Insects」)。

5月31日放送 山陽放送ラジオ, 「朝です。全員起立!」(ホテル・クワガタほか)。

6月3日以降放映 たまテレ, 「特別陳列「近藤光宏昆虫コレクション展」」。

8月19日放送 エフエムくらしき, 「ナウマンの小部屋」, 「自然の標本なんでも相談会」。

8月19日放映 倉敷ケーブルテレビ, 「トクもりっ」, 「自然の標本なんでも相談会」

8月30日放送 山陽放送ラジオ, 「朝です。全員起立!」(秋の鳴く虫ほか)。

9月9日以降発行 山陽新聞, 赤いクビキリギス。

9月9日発行 朝日新聞(岡山), 「秋の鳴く虫見て聞いて, 「今年で最後」提供の難波さん, 倉敷・自然史博物館」。

9月9日放映 OHKテレビ, 「みんなのニュース」, 「ピンクのクビキリギス」。

9月13日発行 毎日新聞(岡山), 「おかやまお仕事図鑑, 昆虫専門学芸員, 「虫好きの子ども育てる」, 倉敷市立自然史博物館・奥島雄一さん(46)に聞く」。

9月17日発行 山陽新聞(倉敷都市圏版)「倉敷市立自然史博物館友の会の難波さん(岡山), 「秋の鳴く虫展」支え30年, 山野歩いて16種そろえる, 今年で「勇退」」。

12月16日放送 エフエムくらしき, 「ナウマンの小部屋」, 「倉敷市立自然史博物館の昆虫標本」。

2月9日以降放映 倉敷ケーブルテレビ, 「第24回しぜんしくらしき賞作品展」。

3月7日発行 山陽新聞(倉敷都市圏版), 「しぜんしくらしき賞, 大人顔負け標本・写真, 自然史博物館, 小中高生の力作32点」。

3月10日発行 山陽新聞(社会), 「国内最大シロアリ羽化石, 倉敷市立自然史博物館確認, 長さ28ミリ, 現存種の4倍」。

3月12日発行 山陽新聞(内政・総合), 「週刊リポート, 地方, 国内最大のシロアリ羽化石」。

3月14日発行 山陽新聞(倉敷都市圏版), 「まちナビ, むしむし探検隊研究発表会&博物館講座」。

3月19日発行 山陽新聞(さん太タイムズ), 「週刊さん太写真ニュース, 国内最大シロアリ羽化石」。

3月20日以降放映 倉敷ケーブルテレビ, 「日本最大のシロアリ化石の発見」。

#### (5) 江田伸司:動物担当(3件)

5月20日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「特別展示 発掘された過去・現在・未来展について」。

9月16日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「サシバの秋の渡りについて」。

1月20日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「ヤマセミについて」。

#### 19. 学校用標本の貸出

岩石標本セット 1件

鉱物標本セット 1件

## 20. 倉敷市立自然史博物館友の会の活動

## (1) 会員

個人会員 288名

家族会員 586名 (166組)

賛助会員 9名 (9組)

計 883名 (463組) ※平成29年3月31日現在

## (2) 役員

[会長] 榎本敬

[副会長] 天本隆士, 古谷太一, 榎原久美子, 武田満子, 中田太海, 溝手啓子, 安原信一郎, 山崎法子。

[評議員] 青野孝昭, 安達由莉\*, 天本隆士, 磯野裕昭\*, 伊藤邦夫, 稲神那代\*, 入江和喜\*, 植松志帆\*, 植松蒼\*, 江田伸司\*, 榎本敬\*, 大島宏美\*, 岡本泰典\*, 奥島雄一\*, 小澤佑二, 片岡法子\*, 片岡博行\*, 片山久\*, 狩山俊悟\*, 木下延子\*, 木村浩子\*, 國忠高広\*, 古谷太一\*, 小橋理絵子\*, 榎原久美子\*, 坂本明弘\*, 坂本憲治\*, 笹田富夫, 柴田加奈\*, 島岡浩恵\*, 白神加奈子\*, 末長晴輝\*, 裾分由美子\*, 武田満子\*, 武田寛生\*, 武田雅生\*, 武智泰史\*, 中田太海, 中塚栄一\*, 野島淑子\*, 橋本恵子\*, 橋本響\*, 橋本真由子\*, 原田愛\*, 東伸彦, 廣瀬正明, 藤野睦子\*, 松村真佐子\*, 溝手啓子\*, 安原信一郎, 山崎法子\*, 雪江祥貴\*。(※は幹事を兼務)

[会計監査] 守安敦, 吉岡勉。

## (3) 自然観察会 (\*は博物館と共催)

4月9日(土) 第492回「倉敷みらい公園の生き物しらべ 2016年春」 \*87名

4月10日(日) 第493回「メジロとランチ♪」 \*39名

4月24日(日) 第494回「春の吉備中央町」 57名

5月22日(日) 第495回「おかやま自然探訪49」 \*53名

5月29日(日) 第496回「スゲ観察会」 16名

6月25日(土) 第497回「ナゴヤダルマガエルとその環境をみよう」(ナゴヤダルマガエル観察会18) \*17名

6月26日(日) 第498回「おかやま自然探訪50」 \*34名

7月3日(日) 第499回「干潟の生物の観察会」(共:倉敷市環境学習センター) 124名

7月16日(土) 第500回「ブッポウソウ巣立ち観察会」(共:倉敷市環境学習センター) \*30名

7月24日(日) 第501回「夏だ! 昆虫採集」 \*159名

7月30~31日(土・日) 第502回「宿泊観察会 奈義町で高原の夏を満喫しよう!」 30名

8月13日(土) 第503回「倉敷みらい公園の生き物しらべ 2016年夏&amp;セミのぬけがら調査」 \*114名

9月11日(日) 第504回「ミズアオイ観察会」(共:倉敷市) \*54名

10月2日(日) 第505回「津黒のきのこと観察会」(共:津黒いきものふれあいの里, 岡山きのこ研究会) \*68名

10月9日(日) 第506回「第21回シダの世界」 16名

10月23日(日) 第507回「おかやま自然探訪51」 \*35名

10月30日(日) 第508回「地学観察会」 \*27名

11月12日(土) 第509回「倉敷みらい公園の生き物しらべ2016年秋」 \*53名

11月20日(日) 第510回「出雲へGO!」(バス旅行) 41名

12月4日(日) 第511回「おかやま自然探訪52」 \*46名

1月15日(日) 第512回「みんなで溜川ウオッチング」(共:倉敷市環境学習センター) 19名

1月22日(日) 第513回「真鍋島の自然」 29名

2月5日(日) 第514回「コケ観察会」(共:岡山コケの会) 18名

2月11日(土・祝) 第515回「倉敷みらい公園の生き物しらべ 2017年冬」 \*47名

2月25日(土) 第516回「ヤマセミをさがしてみよう」(共:倉敷市環境学習センター) \*25名

3月5日(日) 第517回「倉敷市の鳥カワセミをさがそう!」

(共:倉敷市環境学習センター) 26名

## (4) 特別展(博物館と共催)

7月16日~11月3日 第25回特別展「金銀銅の自然史」

## (5) 特別陳列(博物館と共催)

4月1日~4月3日「第23回しぜんしくらしき賞作品展」

1月15日~3月31日「第24回しぜんしくらしき賞作品展」

## (6) 博物館講座(博物館と共催)

7月23日「昆虫の採集と標本作り」

7月24日「植物の採集と標本作り」

12月10日「色鉛筆で昆虫を描こう」

1月17日「学芸員研究紹介 地学」

2月26日「学芸員研究紹介 植物」

3月11日「学芸員研究紹介 動物」

3月20日「学芸員研究紹介 昆虫」

## (7) 標本の名前を調べる会(博物館と共催)

8月21日

## (8) むしむし探検隊(博物館と共催)

4月17日, 6月12日, 7月18日, 11月3日, 3月20日。

## (9) 自然素材を使った手作り教室

毎月第2日曜日 学習コーナー(博物館と共催) 延べ242名

12月18日 お飾り作り 講義室 75名

## (10) 特別企画ワークショップ(博物館と共催)

5月3日, 5月5日, 8月6日, 8月11日, 8月20日。

## (11) グループ活動

毎週金曜日 溜川ウオッチンググループ(共:第3金曜日のみ 倉敷市環境学習センター) 延べ312名

毎月1回 シダグループ 延べ131名

毎月1回 ご近所パードウオッチンググループ 延べ62名

毎月1回 倉敷みらい公園バードウォッチング(共:倉敷市環境学習センター) 述べ58名

随時 岡山県植物誌研究会

随時 脊椎動物グループ 延べ182名

随時 昆虫グループ 延べ242名

(12) 第24回「しぜんしくらしき賞」特別陳列「第24回しぜんしくらしき賞作品展」(作品募集、展示1月15日～4月2日、表彰1月15日)

10月1日～11月6日 募集期間 応募総数32点

11月17日 審査会

1月15日(表彰式)～4月3日 作品展(博物館と共催)

(13) 平成28年度会員証デザインコンテスト

10月8日～12月1日 募集期間(12名、46点)

12月10日 審査(採用:「ウスイロヒョウモンモドキ」青野孝昭)

(14) 自然史博物館まつり(博物館と共催)

11月3日.

(15) 会報「しぜんしくらしき」発行

6月1日 97号, 9月1日 98号, 12月1日 99号, 3月1日 100号.

(16) 連絡誌「倉敷市立自然史博物館友の会ニュース」の発行  
4月9日 292号, 5月14日 293号, 6月11日 294号, 7月9日 295号, 8月13日 296号, 9月10日 297号, 10月8日 298号, 11月12日 299号, 12月10日 300号, 1月14日 301号, 2月11日 302号, 3月11日 303号.

(17) 総会の開催

4月24日.

(18) 幹事会の開催

4月9日, 5月14日, 6月11日, 7月9日, 8月13日, 9月10日, 10月8日, 11月12日, 12月10日, 1月14日, 2月11日, 3月11日.

(19) あっせん

図書, 自然観察用品, 昆虫器具等.

(20) その他

ホームページ, メーリングリスト, Facebookの管理・運営

## V. 庶務

### 1. 沿革

昭和53年8月18日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会(13名)設置  
昭和55年3月13日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会より, 倉敷市庁舎等は「新しい文化施設を創設する気構えで, 積極的に取り組む必要がある」との答申が出される

昭和56年2月3日 倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会(13名)設置

昭和57年3月2日 旧水道局庁舎を自然史博物館として改造することが, 倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会で確定

昭和57年10月1日 自然史博物館基本構想並びに展示基本構想の策定を学識経験者(4名)に委託

昭和57年10月19日 自然史博物館基本構想確定

昭和57年11月27日 自然史博物館展示構想確定

昭和58年11月3日 倉敷市立自然史博物館開館

平成4年1月26日 倉敷市立自然史博物館友の会発足

平成6年3月27日 開館10周年記念建物1階増設並びに改装工事完成

平成9年2月4日 博物館法第12条の規定による登録博物館

平成15年3月21日 第2展示室展示更新完成

平成16年3月20日 第3展示室展示更新完成

平成17年3月20日 第4展示室展示更新完成

平成18年3月21日 第1展示室展示更新完成

平成22年4月1日 倉敷消防署大高出張所跡地を倉敷市歴史資料整備室から移管し, 倉敷市立自然史博物館大高仮収蔵庫として使用開始

### 2. 各室現有面積(単位: m<sup>2</sup>)

現有面積合計 3,263.08

#### (1) 展示室(969.48)

エントランスホール	118.16
常設展示室(第1展示室)	200.09
常設展示室(第2展示室)	256.83
常設展示室(第3展示室)	169.28
常設展示室(第4展示室)	155.16
特別展示室	69.96

#### (2) 調査研究(184.24)

研究室	115.48
工作室	45.56
写真室	11.85
暗室	11.35

#### (3) 収蔵庫(488.87)

第1収蔵庫(動物・植物)	169.83
第2収蔵庫(地学)	62.25
液浸標本収蔵庫	18.69

図書文献室	47.30
大高仮収蔵庫（敷地面積708.10）	190.80
仮収蔵スペース（市内小学校教室2部屋、市内中学校教室2部屋）	

## (4) 教育普及 (157.98)

学習コーナー	47.71
ミニ水族館	14.37
講義室	95.90

## (5) 庶務 (182.11)

連絡室	35.88
事務室	57.59
会議室	55.45
倉庫	33.19

## (6) 機械設備 (281.59)

機械室（地階）	180.86
機械室（収蔵庫用空調設備）	19.86
機械室（屋階）	53.66
ボイラー室	20.25
エレベーター機械室	6.96

## (7) その他 (998.81)

車庫	206.92
便所・廊下等	791.89

## 3. 組織

## (1) 職員（平成28年4月1日現在）

館長	古谷太一（総括）
主幹・学芸員	江田伸司（動物）
主幹・学芸員	狩山俊悟（植物）
主任・学芸員	奥島雄一（昆虫）
主任・学芸員	武智泰史（地学）
副主任	石井陽子（庶務・経理・教育普及）
嘱託	堀幸子（受付・庶務）
嘱託	神田佐奈恵（昆虫学芸補助）
嘱託	辻弘美（植物学芸補助）
嘱託	藤原由佳（受付・広報・教育普及）
嘱託	小田敦子（受付・教育普及・広報）
臨時	鈴木那加（受付・土日）
臨時	藤林真（受付・土日）
臨時	上赤菜都美（植物学芸補助・土日）
臨時	佐藤未紗（昆虫学芸補助・土日）

## (2) 職員の異動

3月31日退任 館長 古谷太一

## (3) 倉敷市立自然史博物館協議会委員

[任期：平成27年12月1日～平成29年11月30日]

大守秀行	倉敷市議会文教委員会委員
榎本敬	倉敷市立自然史博物館友の会会長
鴨井香織	倉敷市立自然史博物館友の会会員
河邊誠一郎	倉敷芸術科学大学教授
小橋理絵子	倉敷市立自然史博物館友の会評議員
小林祥一	岡山理科大学教授
堀江明香	元大阪市立大学大学院理学研究科特任講師
島岡浩恵	倉敷市立自然史博物館友の会評議員
三宅誠治	日本鱗翅学会会員
地職恵	岡山県自然保護センター自然保護指導員 (敬称略, 順不同, 平成28年4月1日現在)

## (4) 倉敷市立自然史博物館協議会の開催

7月22日.

## 4. 委員・役員委嘱

## (1) 古谷太一：館長

28年4月24日～ 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

28年4月24日～ 「倉敷市立自然史博物館友の会副会長」 倉敷市立自然史博物館友の会.

28年4月1日～ 「倉敷市環境審議会委員」 倉敷市.

28年4月1日～ 「岡山県博物館協議会理事」 岡山県.

## (2) 武智泰史：地学担当

28年4月24日～ 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

28年4月24日～ 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.

28年2月8日～30年2月 「標本救済ネットケースワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク.

## (3) 狩山俊悟：植物担当

継続 「岡山県野生動植物調査検討会運営委員」 岡山県環境文化部自然環境課.

継続 「岡山県野生動植物調査検討会植物部会委員」 岡山県野生動植物調査検討会植物部会.

継続 「すげの会監査」 すげの会.

27年7月1日～30年6月30日 「希少野生動植物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課.

25年7月16日～28年7月15日, 28年7月16日～31年7月15日

「岡山県指定希少野生動植物保護巡視員（ミズアオイ）」 岡山県環境文化部自然環境課.

28年2月8日～30年2月 「西日本自然史系博物館ネットワーク理事」 西日本自然史系博物館ネットワーク.

28年2月8日～30年2月 「標本救済ネットケースワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク.

26年4月20日～28年4月23日, 28年4月24日～30年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

26年4月20日～28年4月23日, 28年4月24日～30年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.

27年4月1日～29年3月31日 「備前市歴史文化基本構想策定委員」 備前市教育委員会。

29年2月20日～23日 「非常勤講師(森林資源学)」 福山市立大学。

(4) 奥島雄一：昆虫担当

26年4月20日～28年4月24日, 28年4月24日～30年4月の総会「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

26年4月20日～28年4月24日, 28年4月24日～30年4月の総会「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会。

27年1月1日～28年12月31日, 29年1月1日～30年12月31日「日本甲虫学会評議員」 日本甲虫学会。

27年1月1日～28年12月31日, 29年1月1日～30年12月31日「日本甲虫学会和文誌編集委員」 日本甲虫学会。

27年4月1日～28年3月31日, 28年4月1日～29年3月31日「日本昆虫学会中国支部岡山県委員」 日本昆虫学会中国支部。

25年5月11日～28年5月14日, 28年5月14日～30年5月ころの改選まで「倉敷昆虫同好会幹事」 倉敷昆虫同好会。

27年5月8日～29年3月31日 「スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員」 金光学園中学・高等学校。

28年4月1日～平成30年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会委員(昆虫部会副部会長)」 岡山県野生生物調査検討会。

26年4月1日～平成29年3月31日 「岡山県環境影響評価技術審査委員会委員」 岡山県環境文化部環境企画課。

26年8月1日～平成28年7月31日, 28年8月1日～平成30年7月31日 「岡山県自然環境保全審議会委員」 岡山県環境文化部自然環境課。

27・28年度 「GBIF事業協力者」 地球規模生物多様性情報機構日本ノード。

26年2月17日～28年2月7日, 28年2月8日～平成30年2月の西日本自然史系博物館ネットワーク総会まで「標本救済ネットワークスワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク

27年2月23日～28年3月31日, 28年6月28日～平成29年3月31日「小田川合流点付替え事業環境影響評価フォローアップ委員会委員」 国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所。

28年8月20日～平成29年3月31日 「柳井原地区川づくり検討委員会(仮称)委員」 国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所。

27年7月1日～平成30年6月30日 「希少野生動植物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課。

継続 「倉敷の自然をまもる会理事」 倉敷の自然をまもる会。

継続 「日本昆虫目録コメツキグループ調整担当」 日本昆虫目録編集委員会。

(5) 江田伸司：動物担当

継続 「日本野鳥の会岡山県支部幹事」 日本野鳥の会岡山県支部。

継続 岡山県野生動植物調査検討会運営委員。

28年4月1日～ 岡山県野生動植物調査検討会動物部会部会長。

28年4月24日～30年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

28年4月24日～30年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会。

27年7月1日～29年6月30日 「希少野生動植物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課。

5. 会議等派遣

(1) 古谷太一：館長(4回)

5月24日 「岡山県博物館協議会役員会」 岡山県。

7月8日 「倉敷市環境審議会」 倉敷市。

2月9日 「倉敷市環境審議会」 倉敷市。

(2) 狩山俊悟：植物担当(11回)

5月9日 「平成28年度岡山県野生動植物調査検討会植物部会(第1回)」, 岡山県野生動植物調査検討会植物部会。

6月27日 「平成28年度岡山県野生動植物調査検討会植物部会(第2回)」, 岡山県野生動植物調査検討会植物部会。

7月12日 「岡山県野生動植物調査検討会平成28年度第1回運営委員会」, 岡山県野生動植物調査検討会。

9月7日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2016年度第1回理事会」, 西日本自然史系博物館ネットワーク。

10月17日 「平成28年度岡山県野生動植物調査検討会植物部会(第3回)」, 岡山県野生動植物調査検討会植物部会。

10月20日 「岡山県野生動植物調査検討会平成28年度第2回運営委員会」, 岡山県野生動植物調査検討会。

12月20日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2016年度第2回理事会」, 西日本自然史系博物館ネットワーク。

12月26日 「平成28年度岡山県野生動植物調査検討会植物部会(第4回)」, 岡山県野生動植物調査検討会植物部会。

2月2日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2017年総会」, 西日本自然史系博物館ネットワーク。

2月8日 「岡山県野生動植物調査検討会平成28年度第3回運営委員会」, 岡山県野生動植物調査検討会。

3月28日 「第9回備前市歴史文化基本構想策定委員会」, 備前市教育委員会。

(3) 奥島雄一：昆虫担当(10回)

5月27日 「平成28年度第1回岡山県環境影響評価技術審査委員会」 岡山県環境影響評価技術審査委員会。

7月12日 「岡山県野生動植物調査検討会第1回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会。

9月29日 「小田川柳井原地区川づくり検討協議会(仮称)の開催について」 国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所。

10月20日 「岡山県野生動植物調査検討会第2回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会。

11月18日 「平成28年度第2回岡山県環境影響評価技術審査委員会」 岡山県環境影響評価技術審査委員会。

12月7日 「平成28年度岡山県野生動植物調査検討会昆虫部会(第2回)」 岡山県野生動植物調査検討会。

2月8日 「岡山県野生動植物調査検討会第3回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会。

2月17日 「平成28年度第3回岡山県環境影響評価技術審査委員会」 岡山県環境影響評価技術審査委員会。

3月15日 「小田川合流点付替え事業環境評価フォローアップ委員会第3回」 国土交通省岡山河川事務所。

3月21日 「岡山県自然環境保全審議会(自然保護部会・全体会議)」 岡山県自然環境保全審議会。

#### (4) 江田伸司：動物担当(7回)

5月27日 「岡山県野生動植物調査検討会平成28年度第1回動物部会」 岡山県野生動植物調査検討会動物部会。

6月17日 「岡山県野生動植物調査検討会平成28年度第2回動物部会」 岡山県野生動植物調査検討会動物部会。

7月12日 「岡山県野生動植物調査検討会平成28年度第1回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会。

9月21日 「岡山県野生動植物調査検討会平成28年度第3回動物部会」 岡山県野生動植物調査検討会動物部会。

10月20日 「岡山県野生動植物調査検討会平成28年度第2回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会。

12月14日 「岡山県野生動植物調査検討会平成28年度第4回動物部会」 岡山県野生動植物調査検討会動物部会。

2月8日 「岡山県野生動植物調査検討会平成28年度第3回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会。

## 6. 学習支援

10月21日 「第4回おかやま教育支援活動メニューフェア」(岡山県教育庁主催) にブース展示(ライフパーク倉敷)。

## 7. 広報活動

ホームページの公開および更新を行うほか、「広報くらしき」「毎月のお知らせ」「バオちゃん通信」「パワフルキッズ」「友の会ニュース」「FMくらしき」等でPRを行っている。そのほか、新発見や話題性のあるニュースについては記者クラブへ広報資料を提供している。

メールマガジン登録者数：737人(平成29年3月31日現在)。

メールマガジン発行回数：18回(平成28年度)。

## 8. 職員の研修参加

5月31日 地方創生セミナー(岡山県市町村振興センター)，奥島雄一・石井陽子参加，岡山県市町村振興センター。

6月22～24日 資源地質学会第66回年會学術講演会(東京大学)，武智泰史参加，資源地質学会。

7月6日 女性活躍推進セミナー，石井陽子参加，岡山県市町村振興センター。

7月13～15日 平成28年度博物館長研修(国立教育政策研究所)，古谷太一参加，文部科学省。

7月11～13日 平成28年度アート(文化芸術)によるまちづくり，石井陽子参加，全国市町村研修財団。

7月21日 備中地区社会教育専門講座等研修会，江田伸司参加。

12月1日 基礎から学ぶ！女性職員のための情報収集・分析研修(清音公民館)，石井陽子参加，高梁川流域圏域自治体合同。

12月17日 応用生態工学会第1回地域勉強会，江田伸司参加，応用生態工学会岡山。

1月27日 岡山県博物館協議会平成28年度研修会(岡山県立美術館)，江田伸司参加，岡山県博物館協議会。

3月10～12日 日本植物分類学会第16回大会(京都大学)，狩山俊悟参加，日本植物学会。

## 9. 無料開放

### (1) 市内の小・中学生対象

いきいきパスポート利用者数 延べ389名

高梁川流域パスポート利用者数 延べ217名

### (2) 一般対象

5月5日 こどもの日 302名

11月3日 自然史博物館まつり 12,389名

## 10. 予算・決算

歳入(単位：円)

科目名称	予算額	決算額
観覧料	1,050,000	1,018,740
内、特別展	520,000	453,280
内、常設展	530,000	565,460
書籍売払雑入	300,000	254,313
施設使用料	0	648
観光休憩所水道料	128,000	131,771
拾得金返還雑入	0	0
諸証明手数料	0	0
労働保険料精算雑入	0	24,743
合計	1,478,000	1,430,215

歳出(単位：円)

科目名称	予算現額	決算額
報酬	9,901,000	7,943,448
内、協議会委員報酬	71,000	63,900
内、非常勤職員等報酬	9,830,000	7,879,548
給料	25,970,100	25,970,100
職員手当等	14,247,686	14,247,686
共済費	9,961,812	9,663,174
内、報酬分	1,599,000	1,300,362
内、職員分	8,362,812	8,362,812
賃金	12,960	12,960
報償費	247,000	246,414
内、報償金	247,000	246,414
旅費	128,820	125,630
需用費	10,454,460	10,351,989
内、消耗品費	1,929,131	1,928,942
内、食糧費	14,000	12,755
内、印刷製本費	2,006,105	1,922,184
内、光熱水費	6,141,399	6,124,399
内、修繕料	355,825	355,825
内、飼料費	4,000	3,934
内、医薬材料費	4,000	3,950
役務費	451,000	441,646
内、通信運搬費	284,000	276,406
内、手数料	167,000	165,240
委託料	3,464,500	3,463,008
使用料及び賃借料	124,600	96,020
備品購入費	726,660	726,660
負担金補助及び交付金	54,000	54,000
内、負担金	54,000	54,000
合計	75,744,598	73,342,735

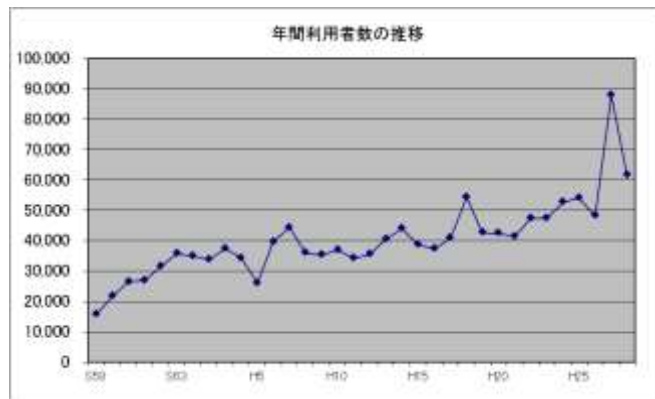
11. 年間利用者数

(1) 平成28年度利用者数 (単位：人)

月	開館日数	有 料				有料入館者合計	無 料														無料入館者合計	館内利用者 (※1)	来館者合計 (A)	館外利用者 (B)	利用者合計 (A+B)
		通常		割引			個人							団体											
		一般	大学生	一般	大学生		高齢者	障がい者	小学生	中学生	高校生	保育・幼稚園	小学生	中学生	支援学校	高校生	その他	特別観覧	乳幼児						
4	26	468	22	0	0	490	83	30	171	16	55	0	256	0	0	0	0	63	190	864	1621	2975	449	3424	
5	26	586	66	0	21	673	129	32	218	19	15	71	71	0	22	0	0	188	231	996	1460	3129	1999	5128	
6	25	464	30	20	62	576	131	3	161	115	12	177	55	0	0	15	0	56	201	926	1755	3257	1236	4493	
7	27	738	51	4	0	793	128	59	401	83	140	68	0	0	0	0	9	72	261	1221	2150	4164	823	4987	
8	26	1238	46	2	8	1294	129	84	789	105	372	28	0	19	0	0	0	108	387	2021	2831	6146	617	6763	
9	26	668	56	2	0	726	125	38	375	21	13	309	432	0	33	0	0	77	290	1713	2216	4655	78	4733	
10	26	478	24	4	53	559	94	33	530	21	21	152	731	0	60	0	0	50	172	1864	1652	4075	211	4286	
11	26	362	45	6	0	413	71	55	112	32	14	74	465	12	31	40	0	47	150	1103	13927	15443	230	15673	
12	23	284	12	1	0	297	75	24	84	12	9	126	49	8	0	0	0	83	133	603	891	1791	46	1837	
1	23	371	21	0	0	392	44	35	154	8	22	160	71	33	0	0	0	49	198	774	964	2130	48	2178	
2	24	518	60	1	54	633	53	29	279	17	6	693	1781	216	0	0	9	48	236	3367	1135	5135	89	5224	
3	27	391	42	0	0	433	111	32	199	17	22	166	22	103	21	0	0	49	200	942	1433	2808	58	2866	
合計	305	6566	475	40	198	7279	1173	454	3473	466	701	2024	3933	391	167	55	18	890	2649	16394	32035	55708	5884	61592	

- ・特別観覧：招待券持参者、友の会会員、無料開放日來館者等
- ・館内利用者 (※1)：講義室での各種講座、学習コーナーでの手作り教室等参加者
- ・来館者合計 (A)：有料入館者合計+無料入館者合計+館内利用者 (※1)
- ・館外利用者 (B)：自然観察会等参加者、出張展示観覧者数

(2) 年間利用者数の推移 (単位：人)



(3) 学生個人・団体の市内外別内訳 (単位：人)

月	個人									団体																		
	小学生			中学生			高校生			保育・幼稚園			小学校			中学校			支援学校			高校			その他			
	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	
4	104	67	171	7	9	16	26	29	55	0	0	0	0	256	256	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	110	108	218	12	7	19	5	10	15	71	0	71	0	71	71	0	0	0	0	22	22	0	0	0	0	0	0	0
6	101	60	161	9	106	115	7	5	12	144	33	177	55	0	55	0	0	0	0	0	0	15	0	15	0	0	0	0
7	264	137	401	26	57	83	114	26	140	49	19	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	9	
8	399	390	789	48	57	105	290	82	372	28	0	28	0	0	0	0	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	121	254	375	3	18	21	1	12	13	309	0	309	161	271	432	0	0	0	0	33	33	0	0	0	0	0	0	0
10	320	210	530	11	10	21	0	21	21	68	84	152	235	496	731	0	0	0	29	31	60	0	0	0	0	0	0	0
11	45	67	112	2	30	32	5	9	14	74	0	74	115	350	465	0	12	12	15	16	31	0	40	40	0	0	0	0
12	41	43	84	3	9	12	6	3	9	126	0	126	0	49	49	2	6	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	44	110	154	1	7	8	5	17	22	160	0	160	62	9	71	33	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	175	104	279	4	13	17	3	3	6	591	102	693	1781	0	1781	14	202	216	0	0	0	0	0	0	9	0	9	0
3	121	78	199	10	7	17	9	13	22	166	0	166	0	22	22	103	0	103	0	21	21	0	0	0	0	0	0	0
計	1845	1628	3473	136	330	466	471	230	701	1786	238	2024	2409	1524	3933	152	239	391	44	123	167	15	40	55	18	0	18	0

・その他：児童クラブ、子ども会等



○倉敷市立自然史博物館条例

昭和58年9月22日  
条例第28号

(目的及び設置)

第1条 自然史に関する科学について、資料を収集し、保管し、展示するとともに、その調査研究及び普及指導を行い、市民の教養文化の向上に寄与することを目的として本市に自然史博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
倉敷市立自然史博物館	倉敷市中央2丁目6番1号

(事業)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- 自然史に関する実物、標本、文献、図書、図表、写真、フィルム等(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、展示すること。
- 博物館資料を利用させること。
- 自然史に関する科学についての調査研究並びに博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
- 自然史に関する講習会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- 他の博物館、学校、研究所等と連携協力し、刊行物及び情報の交換並びに博物館資料の相互貸借等を行うこと。
- その他自然史に関する科学に関する事業

(職員)

第4条 博物館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(常設展及び特別展)

第5条 博物館は、博物館資料を常時展示する常設展及び特別展を開催する。  
2 常設展又は特別展を観覧しようとする者は、別表第1又は別表第2に定める観覧料を納付しなければならない。  
3 前項の観覧料は、観覧の際、納付するものとする。

(博物館資料の利用)

第6条 博物館は、その所蔵する博物館資料を学術的研究等のために利用させることができる。  
2 前項の博物館資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。  
3 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。

(講義室の使用)

第7条 自然史に関する科学についての講習会、研究会等のため、博物館に講義室を設置する。  
2 教育委員会は、前項の設置目的又は博物館の業務に支障を及ぼさない範囲内において、講習会、研究会等のため、講義室を使用させることができる。  
3 講義室を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。  
4 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。  
5 第3項の許可を受けた者は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。  
6 前項の使用料は、その許可の際、納付しなければならない。ただし、教育委員会において特別の理由があると認めるときは、別に納期限を定めて納付させることができる。

(使用料等の還付)

第8条 既納の観覧料及び使用料(以下「使用料等」という。)は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を教育委員会規則で定めるところにより還付することができる。  
(1) 災害その他使用者の責めに帰することができない理由により使用不能となつたとき。  
(2) 使用者が使用開始前に使用の取消しを届け出た場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。  
(3) 使用者が使用開始前に使用許可の変更を申請した場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。  
(4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。

(使用料等の減免)

第9条 教育委員会は、公益上必要があると認めるときは、使用料等を減免することができる。

(目的外使用等の禁止)

第10条 第6条第2項又は第7条第3項の許可を受けた者は、その許可を受けた目的以外に使用し、又はその権利を他に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(入館の制限等)

第11条 教育委員会は、次の各号の一に該当する者に対しては、博物館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。  
(1) 酔酩して他人に迷惑をかけるおそれのある者  
(2) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑をかけるおそれのある物品又は動物の類を携行する者  
(3) 許可なくして営業行為をし、又は張り紙若しくは広告を行う者  
(4) 施設又は博物館資料を損傷するおそれがあると認められる者  
(5) 秩序又は風俗を乱すおそれがあると認められる者  
(6) その他管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第12条 施設又は博物館資料をき損又は滅失した者は、教育委員会の指示に基づき、これを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会においてやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(博物館協議会の設置)

第13条 博物館に倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。  
2 協議会は、委員15人以内で組織する。  
3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。  
(1) 学校教育及び社会教育の関係者  
(2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者  
(3) 学識経験を有する者  
(4) 前3号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者  
4 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。  
5 委員は、再任することができる。  
(協議会の職務)  
第14条 協議会は、博物館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し、意見を述べる機関とする。

(委任)

第15条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)  
1 この条例の施行期日は、規則で定める。  
(昭和58年10月規則第53号で、同58年11月3日から施行)

(関係条例の改正)

2 特別職の職員で非常勤のもの報酬および費用弁償に関する条例(昭和42年倉敷市条例第23号)の一部を次のように改正する。  
別表中「

展示美術館協議会委員	同 5,000円	同
------------	----------	---

」の次に「

自然史博物館協議会委員	同 5,000円	同
-------------	----------	---

」を加える。

附 則(昭和62年6月30日条例第43号)  
この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成3年9月30日条例第17号)  
(施行期日)  
1 この条例は、平成3年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則(平成9年3月25日条例第4号)  
(施行期日)  
1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則(平成12年3月24日条例第28号)  
この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成18年3月24日条例第39号)  
この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月16日条例第11号)  
この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成25年12月26日条例第50号抄)  
(施行期日)  
1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(その他の使用料等に係る経過措置)  
2 この条例(第1条及び第34条を除く。)による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

別表第1 (第5条関係)  
常設展観覧料

区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回 150円	1人1回 100円
大学生	1人1回 50円	1人1回 30円
高校生以下	無料	

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第2 (第5条関係)  
特別展観覧料

区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回につき540円の範囲内で教育委員会が別に定める額	
大学生		
高校生以下		

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第3 (第7条関係)  
講義室使用料

使用場所/使用時間	基本使用料			冷暖房の使用
	午前9時から午前12時まで	午後1時から午後5時まで	午前9時から午後5時まで	
講義室	432円	648円	1,080円	1時間につき756円

備考

- 冷暖房の使用時間の計算については、30分未満は切り捨て、30分以上は1時間として取り扱うものとする。
- 金額には消費税及び地方消費税を含む。

○倉敷市立自然史博物館条例施行規則

昭和58年10月14日  
教育委員会規則第15号

(趣旨)

第1条 この規則は倉敷市立自然史博物館条例(昭和58年倉敷市条例第28号、以下「条例」という。)の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 倉敷市立自然史博物館(以下「博物館」という。)の開館時間は、午前9時から午後5時15分までとする。ただし、博物館への入館は閉館時刻の30分前までとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長において必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(この日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日当るときは、その日後においてその日に最も近い同法に規定する休日でない日とする。)

(2) 12月28日から翌年の1月4日まで、  
2 館長は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

(観覧券の交付)

第4条 条例第5条の規定により観覧料を納付したものに對して観覧券を交付するものとする。

2 教育委員会は必要と認めるとき、特別観覧券又は優待券を発行することができる。

3 観覧券の発売時間は、開館時刻から閉館時刻の30分前までとする。

(入館者の遵守事項)

第5条 入館者は、条例に規定するもののほか、次の事項を守らなければならない。

- (1) 小学校就学前の幼児は、保護者又はそれに相当するものと同伴すること。
- (2) 所定の場所以外で、喫煙又は飲食をしないこと。
- (3) その他館長が必要と認め指示した事項

(資料の寄贈)

第6条 博物館に資料を寄贈しようとするもの(以下「寄贈者」という。))は、所定の寄贈申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として、適当と認められるときは、館長は、所定の受領書を当該寄贈者に交付し、寄贈を受けるものとする。

(資料の寄託)

第7条 博物館に資料を寄託しようとするもの(以下「寄託者」という。))は、所定の寄託申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として適当と認められるときは、館長は所定の資料受託書を当該寄託者に交付し、寄託を受けるものとする。

(資料の返還)

第8条 寄託者が寄託期間中に、資料の返還を請求するときは、それが適当と認められるとき、館長に所定の返還申請書を提出し、資料受託書と引き替えに資料を返還するものとする。

(資料の貸し出し)

第9条 条例第6条の規定により、博物館の資料貸し出しを受けようとする者は、所定の貸出許可申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料の貸し出しを適当と認められるときは、館長は当該申請者に対し所定の貸出許可書を交付し、資料を貸し出すものとする。

3 資料の貸し出し期間は30日以内とする。ただし、館長が特に必要と認めるときはこの限りでない。

(講義室の使用)

第10条 条例第7条の規定により講義室の使用許可を受けようとする者は、所定の使用許可申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の使用許可をしたときは、館長は所定の使用許可書を当該申請者に交付するものとする。

(使用者の遵守事項)

第11条 前条の規定により使用許可を得たものは、次の事項を守らなければならない。

- (1) 定められた場所以外で火気を使用しないこと。
- (2) 許可を受けた設備以外は使用しないこと。
- (3) 使用する施設及び附属設備を管理し、取り締りの責任をもつこと。
- (4) その他館長が必要と認め指示した事項

(使用料等の還付)

第12条 条例第8条ただし書の規定により、使用料又は観覧料の還付を受けようとする者は、所定の還付申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 使用料又は観覧料の還付率は、次のとおりとする。  
(1) 条例第8条第1号に該当する場合 100パーセント

(2) 条例第8条第2号に該当する場合で、使用日の2日前までに第8条に規定する使用取消届を提出したとき50パーセント

(3) 条例第8条第3号に該当する場合で、使用日の2日前までに第8条に規定する変更許可申請がなされたとき 変更前と変更後の使用料の差額の50パーセント

(4) 条例第8条第4号に該当する場合 教育委員会が相当であると認める率

(使用料等の減免)

第13条 条例第9条に規定する使用料等の減免については、次のとおりとする。

(1) 小学校、中学校、高等学校及びこれに準ずる学校の教職員が、学習活動のため児童又は生徒を引率して観覧するとき 観覧料の全額を免除

(2) 65歳以上の老人及び心身障害者が観覧するとき心身障害者の場合はその介護者1名を含めて観覧料の全額を免除

(3) 市又は市教育委員会が主催若しくは共催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除

(4) 社会教育関係団体が主催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除

(5) その他教育委員会が相当と認めるとき 教育委員会が相当と認める額を免除

2 前項第1号、第3号、第4号及び第5号に該当する場合は、教育委員会に所定の減免申請書を提出しなければならない。  
(博物館協議会の運営)

第14条 条例第13条及び第14条に規定する倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。))に会長、副会長を置く。

2 会長、副会長は委員の互選により定める。

3 会長は会務を総理し、協議会を代表し、会議の議長となる。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

5 会議は会長が招集する。

6 協議会は委員の過半数の出席により開催し、議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長が裁決する。

7 協議会に専門部会を置くことができる。

8 協議会の庶務は、博物館において行なう。

9 前項までに規定するもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮り定める。  
(報告)

第15条 館長は、その月の博物館の利用状況について、翌月5日までに、文書により教育長に報告しなければならない。

(服務、文書の取り扱い等)

第16条 職員の服務、文書の取り扱い等については、倉敷市教育委員会事務局処務規則(昭和47年倉敷市教育委員会規則第14号)の例による。

(その他)

第17条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則 この規則は、昭和58年11月3日から施行する。

附 則(昭和62年3月25日教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成3年6月25日教委規則第4号)

この規則は、平成3年7月1日から施行する。

附 則(平成8年1月11日教委規則第2号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成12年3月24日教委規則第9号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年3月25日教委規則第6号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成17年7月27日教委規則第22号)

この規則は、平成17年8月1日から施行する。

附 則(平成17年12月20日教委規則第36号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成18年3月24日教委規則第9号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

○特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例(一部抜粋)

昭和42年2月1日  
条例第23号

(報酬)

第2条 報酬の額は別表のとおりとする。

別表(第2条関係)

区分	報酬の額
自然史博物館協議会委員	日額 7,100円

○利用案内

[開館時間]

9時~17時15分(入館は16時45分まで)

[休館日]

月曜日(祝日または振替休日の時は、その翌日)、  
年末年始(12月28日~1月4日)、臨時休館日。

[観覧料]

- 一般：50円(100円)
- 大学生：15円(30円)
- 高校生以下：無料
- ・かつこ内は20名以上の団体の場合、
- ・65歳以上の方、学齢未達の幼児、心身障がい者と  
その介護者1名は無料。

[交通案内]

- ・自家用車の場合は付近の有料駐車場をご利用ください。
- ・JR倉敷駅より、南へ徒歩約15分、または路線バスで「大原美術館前」下車。



倉敷市立自然史博物館報 第26号 (平成28年度)

---

平成29年 7月 1日発行

発行者 倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2 - 6 - 1

電 話 (086)425-6037

F A X (086)425-6038

E-mail: [musnat@city.kurashiki.okayama.jp](mailto:musnat@city.kurashiki.okayama.jp)

<http://www2.city.kurashiki.okayama.jp/musnat/index.htm>

